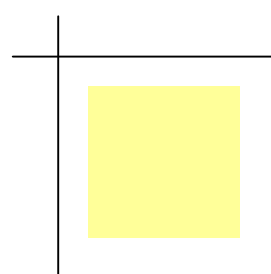
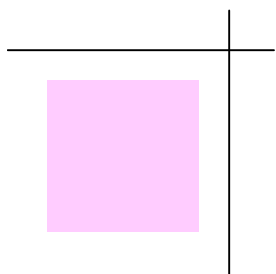


N T T 千 葉 グ ル ー プ
C S R 報 告 書 2 0 0 7



「NTT千葉グループCSR報告書2007」

CONTENTS

- ◎ 経営トップメッセージ -CSR報告書の発行に寄せて- …p. 2
- ◎ NTT千葉グループ会社概要 …p. 3
- ◎ NTT千葉グループのCSRの取り組み
 - 【安心・安全な社会づくりの取り組み】 …p. 5
 - 災害対策の取り組み(実践的演習:首都直下地震大規模災害演習、ひかり電話の故障演習)…p. 6
 - 災害対策の取り組み(広報:八都県市合同防災訓練等における災害対策活動のPR、「災害用伝言ダイヤル171」のPR、報道機関を通しての災害対策PR)…p. 7
 - 災害対策の取り組み(通信レスキューバイク隊)…p. 8
 - 「災害対策フォーラム2006in千葉」の開催…p. 9
 - 情報セキュリティと個人情報保護の取り組み(プライバシーマーク制度取得に向けた取り組み、情報セキュリティと個人情報保護に向けた推進体制、情報セキュリティと個人情報保護に向けた各種施策)…p. 10
 - 緊急通報システム[スクールガード]の提供…p. 11
 - ネット安全の啓発活動(ネット安全教室、e-ネットキャラバン)…p. 12
 - お客様満足度(CS)向上の取り組み…p. 13
 - 品質マネジメントシステム・ISO9001の取り組み…p. 14
 - 飲酒運転撲滅に向けた施策の取り組み…p. 15
 - 禁煙運動の推進…p. 16
 - 緊急情報連絡体制…p. 17
 - 【地球環境保護の取り組み】 …p. 18
 - 環境マネジメントシステム・ISO14001の取り組み…p. 19
 - 環境マネジメントシステム・ISO14001関係スタッフへのインタビュー…p. 20
 - 「チーム・マイナス6%」の推進…p. 21
 - 「NTT千葉グループ水辺クリーンキャンペーン」の実施…p. 22
 - 地域社会における美化活動の取り組み(公衆電話ボックス違法ビラ撤去活動、千葉駅前オフィス町内会、幕張新都心まちづくり協議会、地域清掃活動)…p. 23
 - 地球環境にやさしい通信設備の構築…p. 24
 - 【社会貢献の取り組み】 …p. 25
 - 「電話お願い手帳」「ふれあい速達便」の寄贈…p. 26
 - 「年末チャリティーバザー」の開催…p. 27
 - 「緑の募金」の寄付…p. 28
 - 地域イベントの開催(NTT児童画コンクール、似顔絵展、インターネット無料セミナー)…p. 29
 - 地域イベントへの協賛(ちばデスティネーションキャンペーン、千葉市国際文化フェスティバル、地域イベントへの参加)…p. 30
 - 社会貢献活動表彰(犯人逮捕への協力、ボランティアによる少年野球指導)…p. 31
 - 企業見学会の開催…p. 32
 - 【コンプライアンス・企業倫理啓発の取り組み】 …p. 33
 - 「CSR推進」のためのeラーニング研修の実施…p. 34
 - 「公正競争確保」のための研修の実施…p. 35
 - 「企業倫理・人権啓発」のための研修の実施…p. 36
 - 「人権にちなむポスター・標語」の募集…p. 37
- ◎ NTT千葉グループのCSR基本方針 《資料》 …p. 38
- ◎ CSR推進室長あいさつ -編集後記にかえて- …p. 51

□ 経営トップメッセージ —CSR報告書の発行に寄せて—



東日本電信電話(株) 千葉支店長
(株)NTT東日本—千葉 代表取締役社長

山本 智昭

情報通信サービスは、豊かな生活・社会を創造し社会的発展を遂げていくうえで不可欠なインフラであるとともに、災害時等におけるお客様の生命・財産を守るライフラインとして高い社会的使命を担っているところです。

このことは、私どもNTTグループのCSR憲章(企業の社会的責任を表明した宣言文)の中に次のとおり明記してあります。

私たちNTTグループは、情報通信産業の責任ある担い手として、最高のサービスと信頼を提供し、“コミュニケーション”を通じて、人と社会と地球がつながる安心・安全で豊かな社会の実現に貢献します。

情報通信事業者として、私どもの責務には、ICT(情報通信技術)を通して、人と人とのコミュニケーションをさらに活力のあるものとし、また、その技術によりCO2排出を伴わない省エネルギー型の地球環境にやさしいクリーンな事業運営に貢献するなどの、社会貢献の取り組みがあります。

最近では、CSR経営の必要性・重要性が叫ばれながらも、目先の利益を追求するあまりの企業の不正・不祥事が後を絶ちません。私どもは、財務的な健全経営だけでなく社会的側面や環境的側面にも配意し、日々のサービスのご提供がそのまま企業としての社会的責任の実行となることを肝に銘じ、活動に取り組んでまいりました。

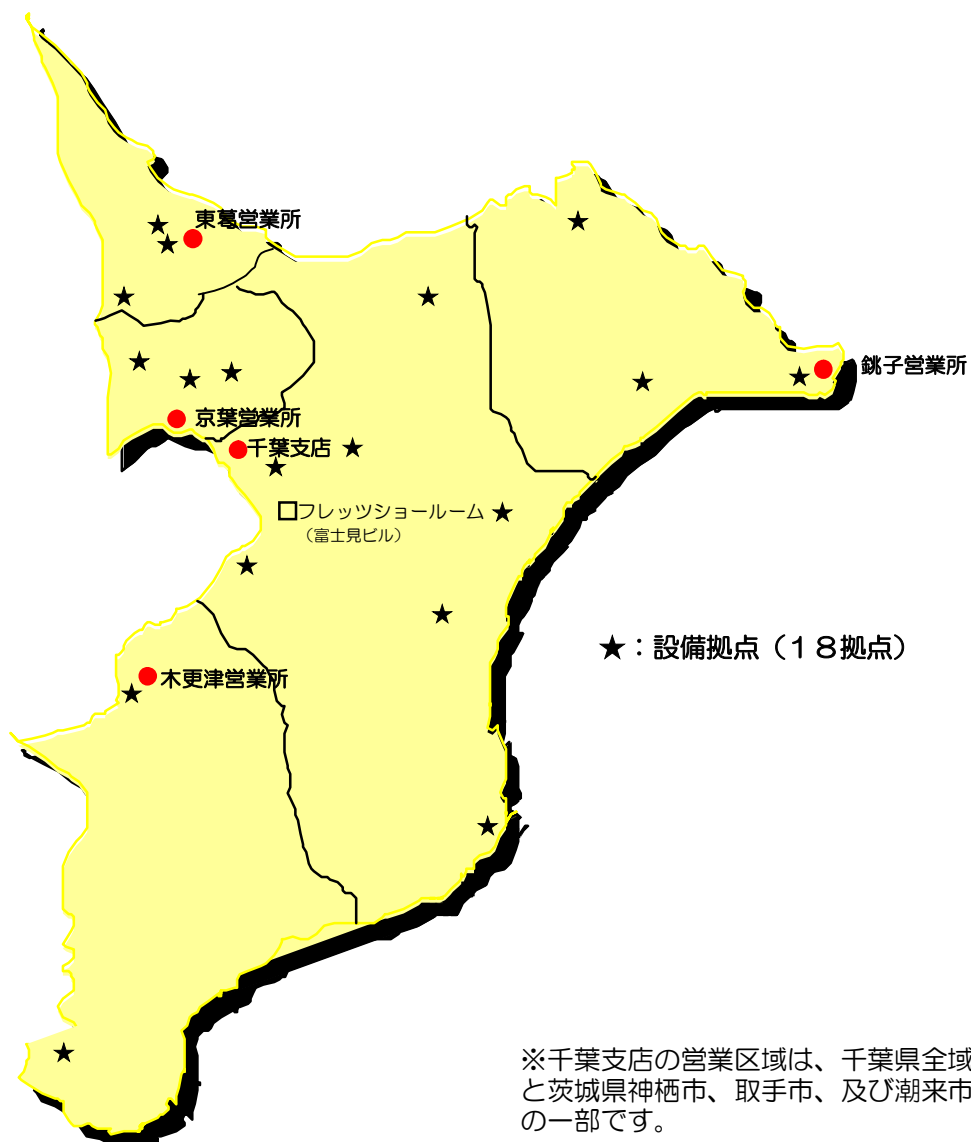
この度、こうした活動を取り纏め、皆様にお知らせすべくCSR報告書を発行する運びとなりました。私どもは、今後とも地域の皆様と親密な関係を築き、皆様のご期待と信頼にお応えしてまいります。

この報告書を通して、私どもの取り組みの一端なりともご理解を賜れば幸いに存じます。

平成19年7月

□ NTT千葉グループ会社概要(1)

- 所在地：千葉市美浜区中瀬一丁目3番地
- サービスエリア：下図のとおり



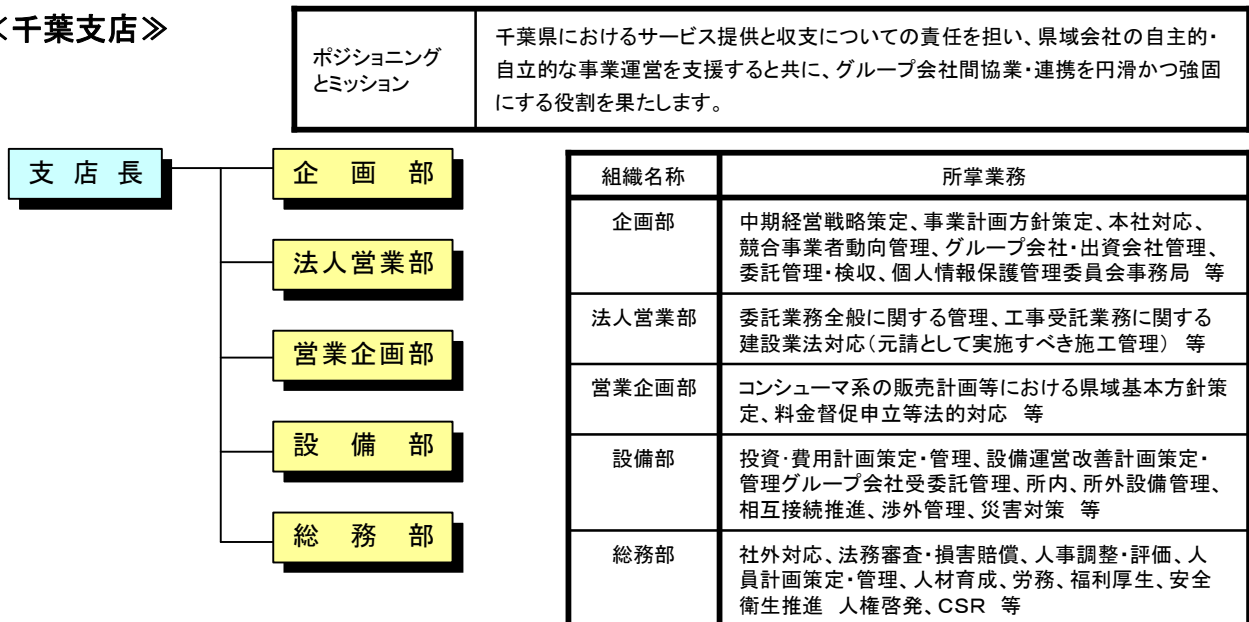
※参考：営業拠点所在地一覧

拠点名	所在地
千葉支店	千葉市美浜区
京葉営業所	船橋市湊町
東葛営業所	柏市泉町
木更津営業所	木更津市新田
銚子営業所	銚子市中央町

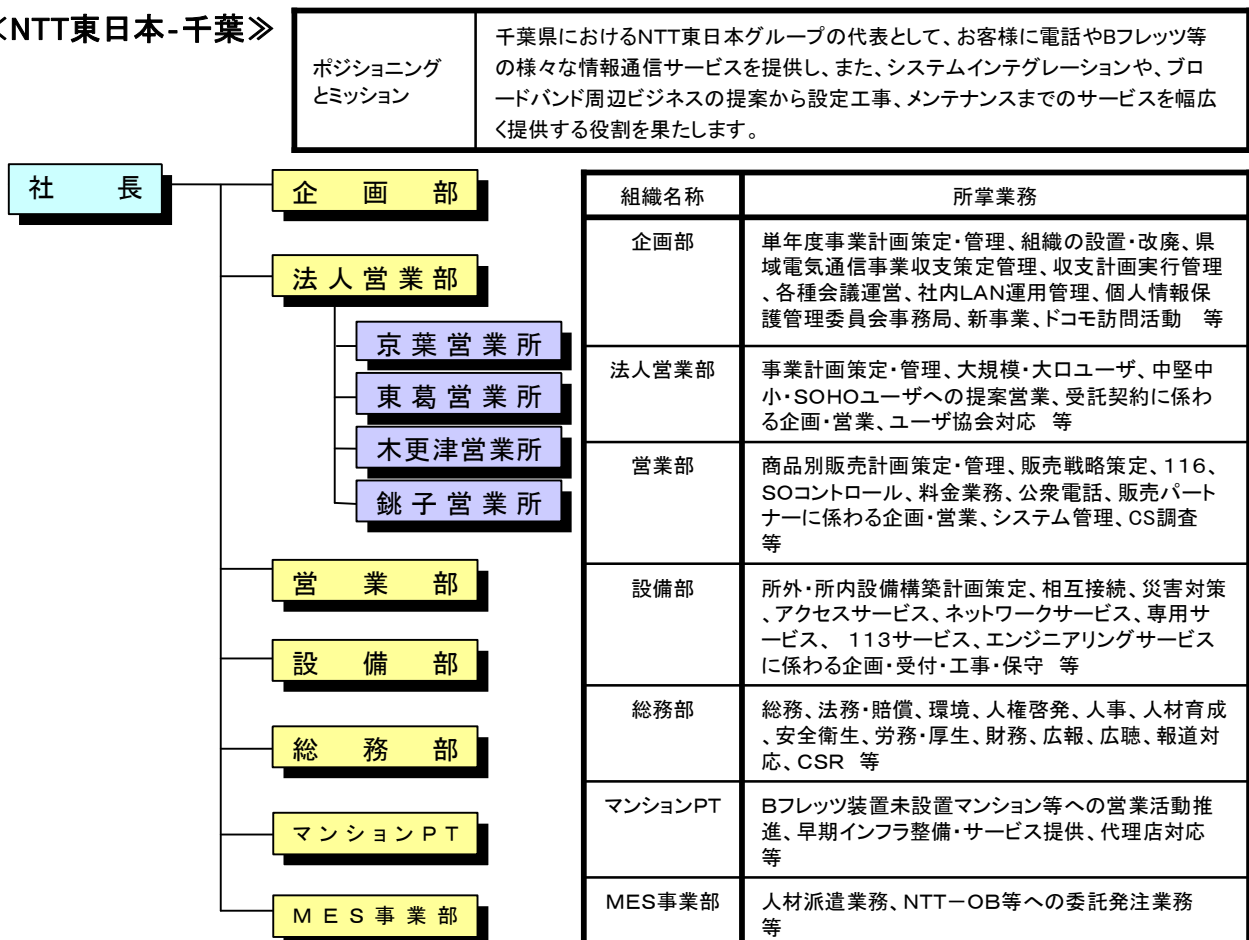
□ NTT千葉グループ会社概要(2)

- 社員数：約4,000名
- 業務運営体制：下図のとおり

《千葉支店》



《NTT東日本-千葉》



NTT千葉グループのCSRの取組み

- 安心・安全な社会づくりの取組み
- 地球環境保護の取組み
- 社会貢献の取組み
- コンプライアンス・企業倫理啓発の取組み

【安心・安全な社会づくりの取組み】

》》 災害対策の取組み(実践的演習)

NTT千葉グループでは、災害時においてもお客様のライフラインとなる通信サービスの提供が確保できるよう、様々な取組みを実施してまいりました。

●首都直下地震大規模災害演習(実施日：平成18年10月25日(水))

午前5時30分の首都直下地震発生、震度6強による首都圏同時被災を想定し、電気通信設備が被災した中で、列車運休を想定した災害対策本部員の駆けつけ訓練(本部又は最寄指定ビル)および災害対策本部立ち上げ後の災害対策行動マニュアルに基づく各班の初動対応までの訓練を実施しました。

また、情報収集訓練としてバイク隊を出動させ、遠隔地からの映像伝送を行いました。

●ひかり電話の故障演習(実施日：平成19年2月21日(水))

ひかり電話のNTT東日本全域に及ぶ長時間故障を想定し、お客様対応部門を初めとする情報配信を含む支店内関連部門との実践的演習を実施しました。

また、グループ会社(NTTロジスコ千葉物流センタ)の代替回線作成のためポータブル衛星車を出動させ、アナログ電話回線を開通させました。



〔首都直下地震大規模災害演習の災害対策本部〕



〔ひかり電話の故障演習における代替回線の開通〕

【安心・安全な社会づくりの取組み】

》》 災害対策の取組み(広報)

NTT千葉グループにおける災害対策への取組みについてご理解をいただくため、機会を捉えてPR活動を行いました。

●八都県市合同防災訓練等における災害対策活動のPR

各自治体等の主催による防災訓練や防災フェアへ参加し、災害対策機器による臨時電話回線の構築及び特設公衆電話設置等、応急復旧訓練を実施しました。

(八都県市防災:平成18年9月1日(金)・3日(日)、航空機事故消火救難訓練:平成18年10月12日(木)等 計13カ所参加)

●「災害用伝言ダイヤル171」のPR

防災訓練や防災フェア時の「災害用伝言ダイヤル171」展示コーナーにおいて、ご来場の皆様にPR用のパンフレットを配布し使い方をご説明するとともに、実際に171を体験していただき、災害時の安否確認方法をPRしました。

また、千葉県西部防災センタへ171パンフレットを配布し、ご来場のお客様へPRを実施しました。

●報道機関を通しての災害対策PR

千葉日報社の「防災座談会」に出席し、防災関係者や他のライフライン関係機関とともに、災害に対する日頃からの取組みなどを発表しました。

NTT千葉グループでは、地震災害に対する対応策・情報収集や、被災時のライフラインの確保・復旧及び防災についてのアドバイスを提言いたしました。



〔八都県市合同防災訓練〕



〔「災害用伝言ダイヤル171」利用体験〕

【安心・安全な社会づくりの取組み】

》》 災害対策への取組み(通信レスキューバイク隊)

NTT千葉グループ通信レスキューバイク隊は、平成8年5月に大規模災害等が発生した際、通信設備の被災状況等の情報収集や安否確認システムで確認が取れない社員の安否確認等を実施することを目的として発足しました。

バイク隊では、定期的に安全運転技能向上訓練を実施するとともに、他のライフライン機関と連携を図り、各防災訓練等に参加するなど指定公共機関としての社会的貢献活動を行っています。

主な活動内容は次のとおりです。

●防災訓練における通信設備の早期復旧に向けた情報収集活動のPR

各自治体主催の防災訓練に参加し、被災状況の調査模様を模擬走行するなど、通信設備の早期復旧を目的とした情報収集活動を、各自治体や市民の方々に広くPRしています。

また、展示コーナーにおいて、バイク車両や訓練模様のパネル等を展示し、隊員自らが来場の方々に有事の際の活動や、災害用伝言ダイヤル171のPRを実施するとともに、自衛隊や警察・消防等の機関と情報共有を図り、常にライフライン企業のリーダーシップを発揮しています。

《主な参加イベント》

- ・第27回八都県市合同防災訓練参加(千葉県会場、千葉市会場)
- ・成田市、野田市防災訓練及び成東防災フェア参加
- ・「災害対策フォーラム2006in千葉」、「うらやすマンションフォーラム2006」参加

●隊員による社外PR

◇部外(高等学校や一般ライダー向け)への安全運転指導等の活動

(全日本交通安全協会の二輪車安全運転特別指導員資格)

◇地元警察主催の交通安全講習会で乗車指導を実施(旭市)

◇二輪車を安全に運転する技能を競う「ベストライダーコンテスト」参加



[八都県市合同防災訓練]



[消防署バイク隊との合同練習]

【安心・安全な社会づくりの取組み】

》》「災害対策フォーラム2006in千葉」の開催

NTT千葉グループでは、災害に強い通信ネットワークづくり、災害時の通信確保のための対応策など、災害から通信ネットワークを守るためのソリューションをご紹介するため「災害対策フォーラム2006in千葉」を開催しました。

当日は、自治体や企業より223社・約500名のご来場をいただき、「情報ネットワークから見た災害対策」をテーマに、NTTグループ各社より災害対策のサービスやシステムのご提案をいたしました。

なお、開催概況については次のとおりです。

□ 開催月日：平成18年5月18日（木）・19日（金）

□ 開催会場：NTT幕張ビル

□ 協賛企業：NTTコミュニケーションズ、NTTドコモ、NTTアドバンステクノロジー、NTTファシリティーズ、NTTインフラネット、テルウェル東日本、NTTアクセスサービスシステム研究所

□ 開催内容：	展示コーナー	平常時及び災害の発生から復旧・支援までを支えるNTTグループの最先端システムや機器をご紹介しました。
	ライブ・ステージ	東京直下型地震に見舞われた千葉市内を想定舞台に、対応と復旧にあたるNTTと自治体・企業の災害復旧の状況をシミュレーションしました。
	講演	北川正恭氏（早稲田大学大学院公共経営研究科教授） 「危機に敗けない、組織と戦略」をテーマに、自治体の非常時戦略を例に、組織として災害対策に取り組むうえでの留意点についてご講演をいただきました。



【「展示コーナー」模様】



【「ライブ・ステージ」模様】

【安心・安全な社会づくりの取組み】

》》 情報セキュリティと個人情報保護の取組み

NTT千葉グループでは、お客様情報保護をはじめとする情報セキュリティの確保に向け、次のような取組みを行ってきました。

● プライバシーマーク制度取得に向けた取組み

平成17年11月より、NTT東日本ー千葉におけるプライバシーマーク制度取得に向けて、日本工業規格 JIS Q 15001「個人情報保護に関するコンプライアンス・プログラムの要求事項」に基づき、個人情報の保護措置の整備に取り組んでまいりました。

※平成19年7月9日、NTT東日本の地域会社として初めて**プライバシーマークを取得**いたしました。

● 情報セキュリティと個人情報保護に向けた推進体制

NTT千葉グループでは、お客様情報をはじめとする情報セキュリティ管理について、千葉グループセキュリティ推進体制、個人情報保護管理委員会を設け、NTT千葉グループ一体となった取組み（全役員、全社員等に対し研修・啓発活動、社内規程類の体系的な整備等）によりセキュリティの確保を積極的に推進しています。

● 情報セキュリティと個人情報保護に向けた各種施策

NTT千葉グループでは、お客様情報をはじめとする情報セキュリティ保護に対する社会的要請を十分に認識し、適正な取扱いを推進していくことが、公共性を有する通信事業者としての重大な社会的責務と考えております。

その責務を十分果たすとともに、安心・安全なサービスを提供し、皆様に信頼される企業であり続けるため、お客様情報をはじめとする情報セキュリティ保護のために、以下の取組みを行っております。

- 情報セキュリティに関する行動指針の策定
- 社員意識の向上と管理体制の強化
 - ・情報管理啓発員への研修会の実施
 - ・全社員（派遣社員等含む）への啓発活動
 - ・Webを用いた自己点検・自主点検の実施
- 委託会社の管理強化
- 人材派遣会社の管理強化
- システムセキュリティの強化



[プライバシーマーク]

【安心・安全な社会づくりの取組み】

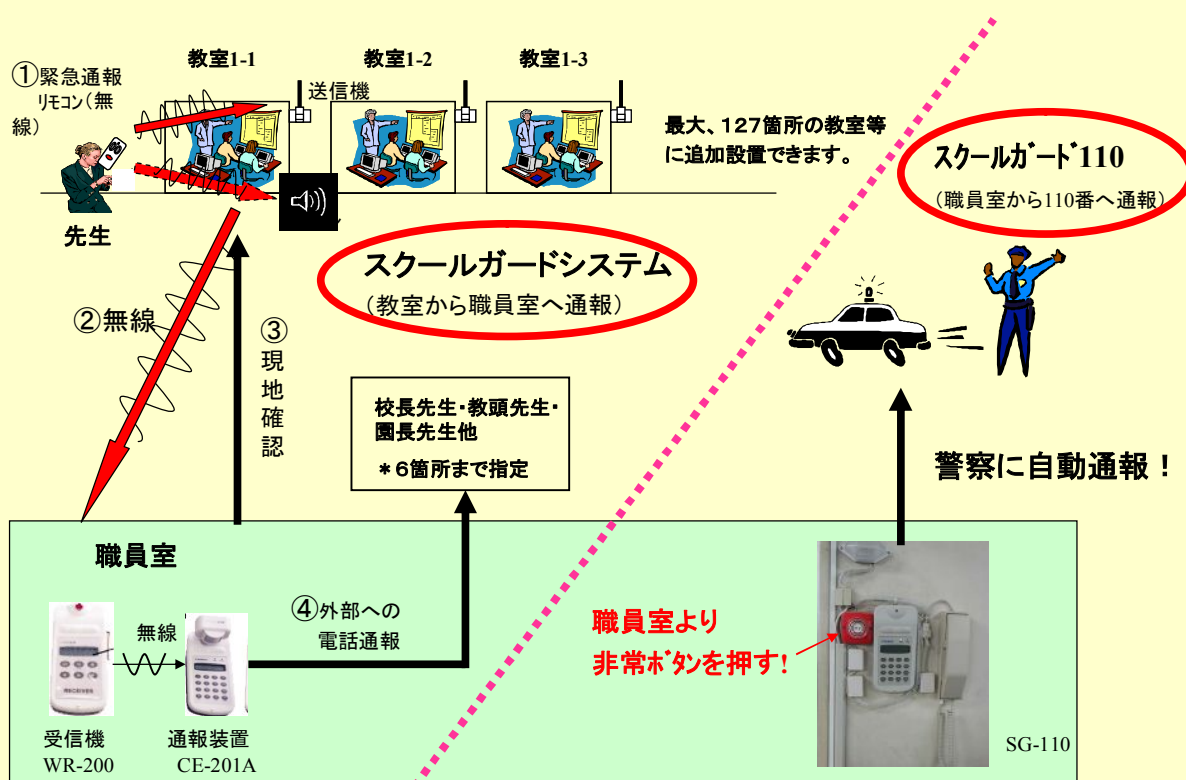
》》 緊急通報システム[スクールガード]の提供

昨今の学校内における犯罪発生を未然に防止するために、緊急事態発生時に、リモコンを押すだけで、職員室へ簡単通報できる緊急通報システム[スクールガード]を構築・提供しています。

[シ ス テ ム 概 要]

1. 緊急事態発生時に、リモコンを押すだけで、職員室へ簡単通報
2. 職員室では、受信機に表示された教室番号を確認。ただちにアクション！
3. ボタン1つで、校長先生・園長先生の自宅や携帯電話へ自動的に通報（通報装置必要）
 - ・最大6ヶ所まで登録できます。
 - ・通報内容は、予め録音したものが再生されます。
4. 無線方式採用なので、面倒な配線工事不要（100Vの商用電源は必要）
5. 警察へもボタン1つで自動通報とすることが可能
（このケースの場合には、警察の了解が必要です。千葉の場合、千葉県警の了解済み）

[シ ス テ ム 構 成 図]



【安心・安全な社会づくりの取組み】

》》 ネット安全の啓発活動

携帯電話やインターネットの普及に伴い、手軽にコミュニケーションが行え、生活の利便性が高まる一方、小中学生におけるネットによるいじめや犯罪などのトラブルが社会的な問題となっています。こうしたトラブルを未然に防ぐためには、児童・生徒自身のスキル向上と、保護者・教職員による保護・教育が求められます。

NTT千葉グループでは、このような社会的要請にお応えするために、次のような施策にスキルを有するボランティア社員を派遣し、ネット安全の啓発に取り組んでいます。

●「ネット安全教室」による安全啓発

□主 催：NTT東日本

□対 象 者：小学生高学年

□活動内容：コミュニケーションの重要性を理解するため、電話・インターネットなどメディアの上手な使い方、コミュニケーショントラブルの回避方法などを教える。

●「e-ネットキャラバン」による安全啓発

□主 催：総務省、文部科学省 等

□対 象 者：保護者及び教職員

□活動内容：子供たちが容易に電話・インターネットに触れる環境が整ってきているため、児童・生徒を保護・教育する立場にある保護者、教職員の方々に対して、インターネットの安心・安全利用に関する啓発を行い、インターネット利用の適切な推進を図る。

= 派遣講師 =

派遣講師名	所 属	派遣施策	
		ネット安全 教室	e-ネットキャ ラバン
藤野 和則 社員	NTT東日本千葉支店 営業企画部 営業企画担当		○
山崎 雅好 社員	NTT東日本ー千葉 設備部 113サービスセンタ IPユーザサポート担当	○	○
福地 靖己 社員	NTT東日本ー千葉 設備部 アクセスサービス部門 京葉FS・第二サービス担当	○	○
石井 博 社員	NTT東日本ー千葉 営業部 サービス部門 サービス推進担当	○	○

【安心・安全な社会づくりの取組み】

》》 お客様満足度(CS)向上の取組み

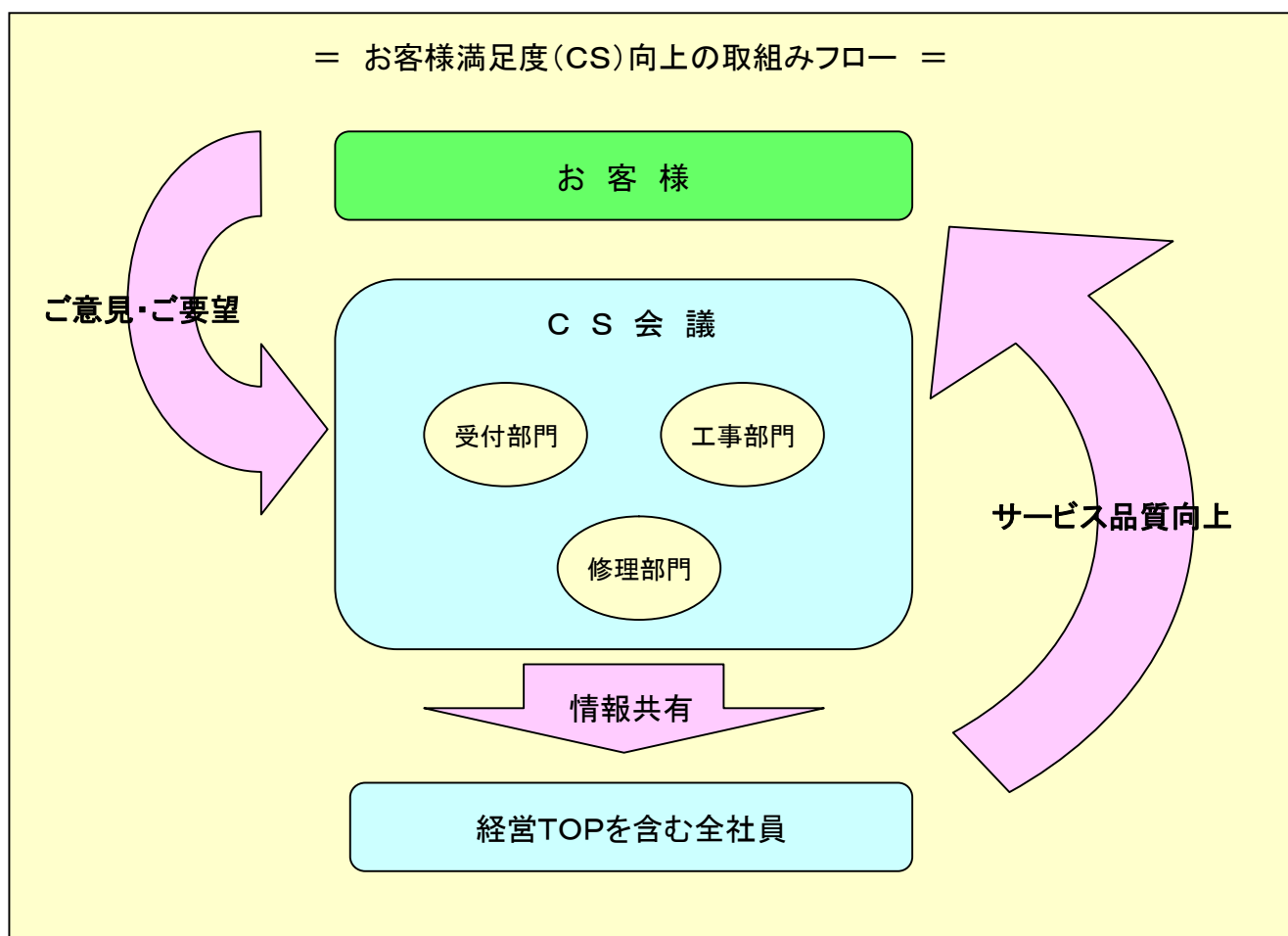
NTT千葉グループでは、お客様満足度(CS)向上を目的に、CS社内方針(お客様対応における5つの約束)を制定し、毎年目標値を定めて改善しPDCAサイクルを繰り返すことによりサービス品質の改善・検証に努めています。

また、お客様へサンプリング調査(TOPICS調査)を常時実施・分析し毎月関係部門が集合した会議を実施しています。会議ではお客様より頂いた貴重なご意見・ご要望に基づき、部門を超えてサービス品質向上に向けた議論を実施しています。議論の結果は経営トップまで情報共有しおり、社内展開を図ることによりお客様にご満足いただける企業を目指した活動へつなげてまいります。

※1:CS=Customer Satisfaction(お客様満足度)

※2:PDCA=Plan-Do-Check-Action(Act)(計画→実施・運用→点検→見直し)

※3:TOPICS調査=TOtal Prompt Improvement for Customer Satisfaction(NTT東日本におけるCS活動)



【安心・安全な社会づくりの取組み】

》》 品質マネジメントシステム・ISO9001の取組み

NTT千葉グループでは、高い品質のサービスを提供し、お客様満足の上昇を図るために、平成9年に品質マネジメントシステムの国際規格ISO9001の認証を取得して以来、継続的改善により引き続き品質向上に取り組み、平成18年に3回目の更新審査を受審し、同年4月30日に継続認証を取得いたしました。

= 品質方針 =

私達は、質の高い技術力の提供、自分の責任と役割を認識した対応を行い、お客様の視点に立った行動で信頼と満足をいただける品質を目指すと共に、情報化社会の発展に貢献します。

= 重点目標 =

(1) 顧客満足とサービス品質向上の追及

◇ お客様第一主義を第一に考え要求事項を満たす良い製品・サービスを提供し、安心と信頼の提供に努めます。

(2) 時代を先取りしたプロフェッショナルな人材育成

◇ 自らのスキルや、製品・サービスの品質向上を求め、改善・改革を推進します。

(3) QMSのレベルアップ

◇ お客様の声を基にQMSの有効性の継続を図り、レベルアップを図ります。

(4) 安全の推進◇無事故のサービスの提供に努めます。

◇ 無事故のサービスの提供に努めます。



[ISO9001マネジメントシステム登録証]



[ISO9001マネジメントシステム登録証付属書]

【安心・安全な社会づくりの取組み】

》》 飲酒運転撲滅に向けた施策の取組み

酒気帯び運転等の厳罰化や危険運転致死傷罪の制定など、飲酒運転に対して厳しい法規制が課されながらも、なお続発する飲酒運転が社会的な問題となるなか、NTT千葉グループではこの一年間、次のような施策を通して飲酒運転の撲滅に取り組みました。

＝ 飲酒運転撲滅に向けた主な取組み ＝

- H18. 4月 ● 社長より、飲酒運転撲滅の徹底に向け全担当で安全ミーティングを実施するよう指示。
● 社内ホームページにより、飲酒運転撲滅について注意を喚起。
● 安全衛生委員会を開催し、飲酒運転の撲滅に向けた今後の取組みを討議。
- 5月 ● 総務部長より、全事業所へのキャラバンにより飲酒運転撲滅について注意喚起を実施。
- 7月 ● 「7月期安全品質強調強化月間」を設定し、飲酒運転等により交通事故を起こした受刑者の反省と償いの日々をつづった冊子「贖いの日々」を全社員に配布するとともに、始業時のアルコールチェッカーによる酒気帯び運転防止を徹底。
- 9月 ● 秋の全国交通安全運動に合わせて、全担当において飲酒運転撲滅に向けた安全ミーティングを実施。
- 10月 ● 社内パソコンのスクリーンセーバーに「飲酒運転撲滅三原則」を表示し、社員の意識を醸成。
● 会社で開催される懇親会等の場で、「飲まないワッペン」の着用義務付けを行い、飲酒運転撲滅を徹底。

注意!

＝ 飲酒運転を規制する関連法 ＝

■ 酒酔い運転 (道路交通法第117条の2) ＝酒に酔った状態(アルコールの影響により正常な運転ができないおそれがある状態)で運転した者	5年以下の懲役又は100万円以下の罰金
■ 酒気帯び運転 (道路交通法第117条の4) ＝身体に呼気中のアルコール濃度が、0.15mg/ℓ以上にアルコールを保有する状態で運転した者	3年以下の懲役又は50万円以下の罰金
■ 危険運転致死傷 (刑法第208条の2) ＝アルコール又は薬物の影響により正常な運転が困難な状態で自動車を走行させ、	→人を 負傷 させた者 15年以下の懲役
	→人を 死亡 させた者 1年以上の有期懲役(最高刑は懲役20年)

【安心・安全な社会づくりの取組み】

》》 禁煙運動の推進

社員の更なる健康増進施策を推進するため、禁煙を希望する社員に対して、千葉健康管理センターとタイアップし「禁煙教室」「禁煙マラソン」を実施し、喫煙者の削減に取り組みました。

その結果、49名の参加者のうち46名が禁煙を達成しました。(実施期間：平成18年12月1日(金)～平成19年1月31日(水))

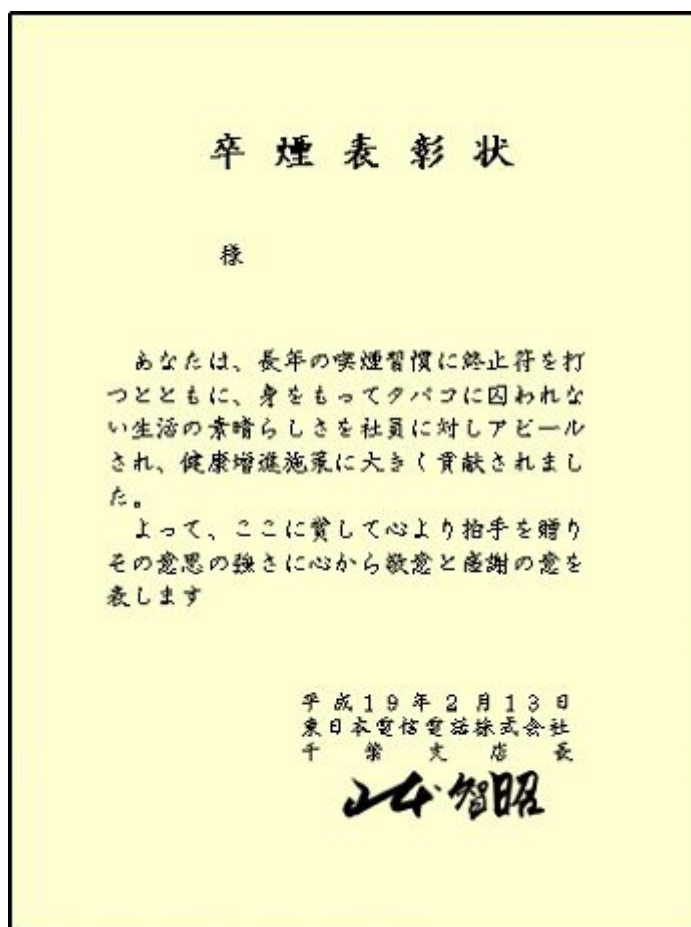
また、厚生労働省指針、健康増進法「受動喫煙対策の推進」に基づき、各ビルにおける受動喫煙による健康への悪影響を排除するため、これまで各フロア毎に設置してあった喫煙コーナーを一カ所に集約するとともに、新たな分煙対策として喫煙カプセルを設置し、職場環境の改善と社員の健康増進を図りました。



〔禁煙教室〕



〔卒煙確認のための一酸化炭素濃度チェック〕



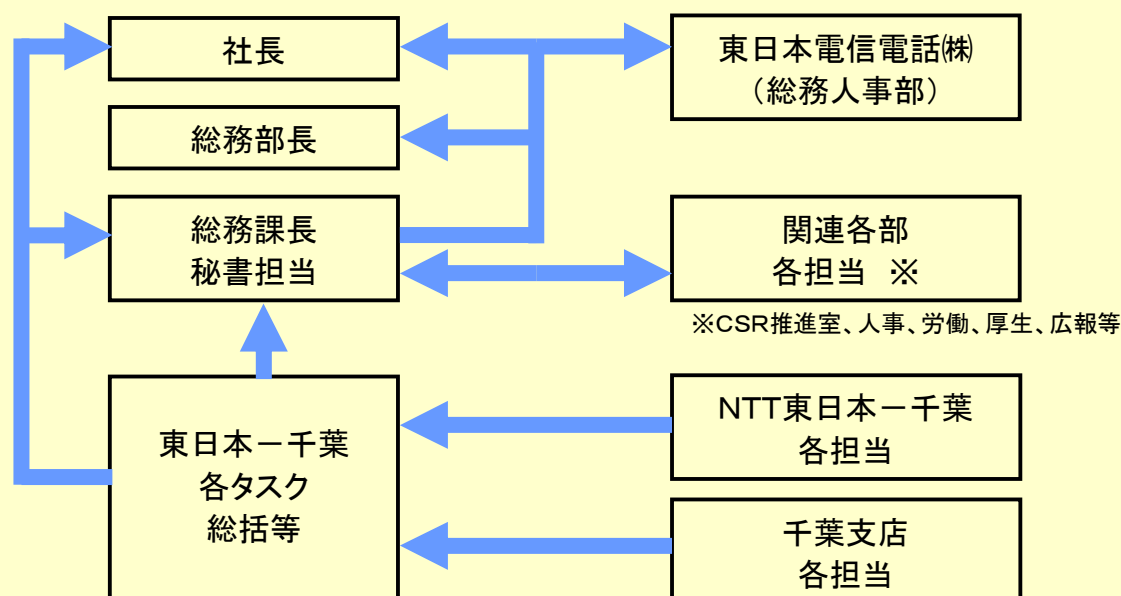
〔卒煙者への表彰状〕

【安心・安全な社会づくりの取組み】

》》 緊急情報連絡体制

NTT千葉グループでは、リスクマネジメントを万全に遂行していくために、事故や不正・不祥事が発生した場合に備え、次のような緊急情報連絡体制を構築し、迅速かつ適切な対応が図られるよう社員への周知・徹底を行っています。

= 緊急情報連絡の体制 =



= 緊急情報連絡の手順 =



「第1報」詳細な事実の確認及び対処方法等が確定していなくても、**発生した旨の報告を優先し、速やかに報告する。**

- ・発生が昼間帯であれば、即時報告を基本とする。（発生が休日の場合は、電話による報告を基本とする。）
- ・発生が夜間・深夜帯であれば翌朝報告を基本とする。ただし、事業運営に重大な影響を及ぼすリスクが想定されるものは、時間帯に関係なく速やかに電話による報告を行う。

「第2報」（必要に応じて続報も可）**第1報以後の判明事項および発生事象に対する措置内容等を報告する。**

- ・発生原因、規模、発生元（組織・社員）との対応状況、お客様対応状況（方針）、警察等の対応状況等を記載する。

NTT千葉グループのCSRの取組み

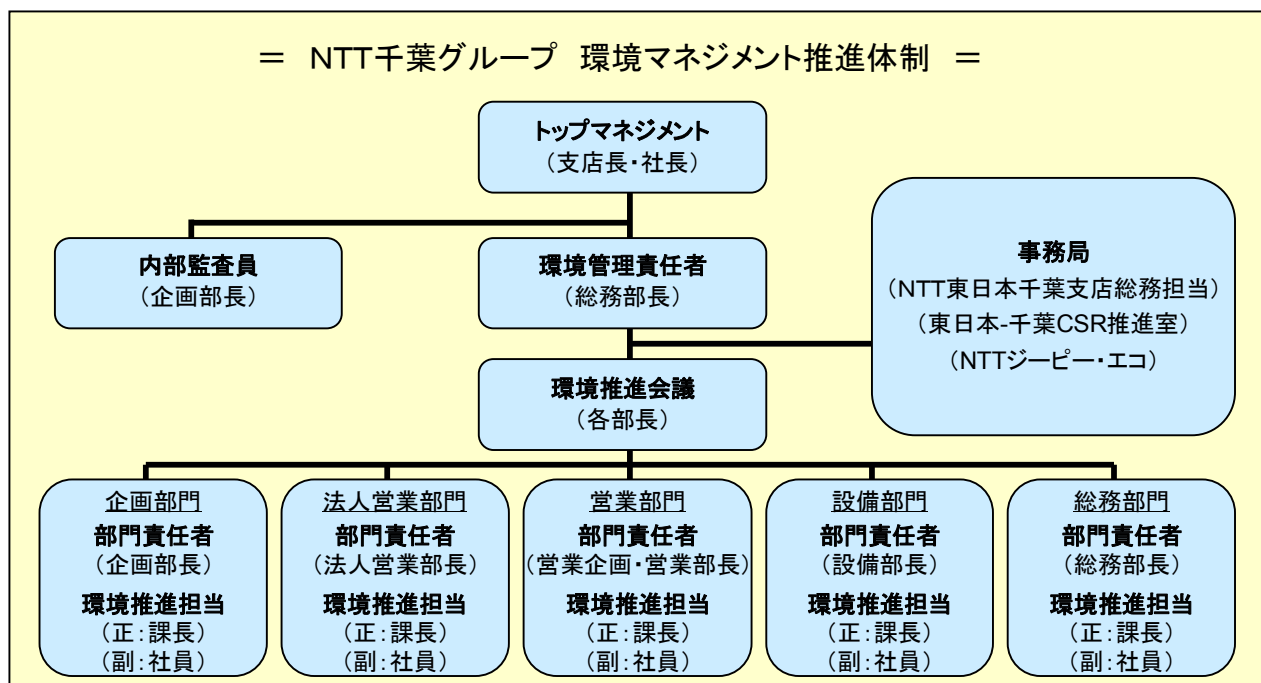
- 安心・安全な社会づくりの取組み
- 地球環境保護の取組み
- 社会貢献の取組み
- コンプライアンス・企業倫理啓発の取組み

【地球環境保護の取組み】

》》 環境マネジメントシステム・ISO14001の取組み

NTT千葉グループでは、情報流通サービス事業活動により生じる環境への負荷を継続的に軽減するため、環境方針、環境目的及び目標を設定し、その達成に向けて組織的、効果的に運用する環境マネジメントシステムを確立し、継続的な改善に取り組んでまいりました。

平成18年度は、既に平成15年度にISO14001の認証を取得している幕張テクノガーデンビル及びNTT幕張ビルに、新たにNTT千葉富士見ビルを加えて更新審査を受審し、平成19年3月5日に継続認証を取得いたしました。



[ISO14001マネジメントシステム登録証]



[ISO14001マネジメントシステム登録証付属書]

【地球環境保護の取組み】

》》 環境マネジメントシステム・ISO14001関係スタッフへのインタビュー

NTT千葉グループにおける環境マネジメントシステムの取組みを支える社員を代表して、次の関係スタッフの方々にインタビューを行いました。

【環境推進担当者へのインタビュー】

H19年度の環境推進担当になられた小笠原みどりさんに、今後、千葉グループとして環境保全活動を推進していくにあたっての思いを聞いてみました。

◆営業部を代表して環境推進担当に任命されてからのこの数ヶ月、いかがでしょうか。

「これまで職場の1メンバーとして、環境保護活動の取組みに参画してきましたが、いざ自分が推進役となるとその責任の重さを感じますが、周囲の協力を得ながら継続的な改善を推進していきたいと思います。」

◆今後、環境保護のための目的・目標の達成に向けて、どのように取り組まれていきますか。

「環境目的・目標については、可能な限り事業計画と連動させ、日常業務の中から環境負荷の低減に有効であることを考慮して策定しています。従いまして、目的・目標を達成するために何か特別な活動をするということではなく、例えば私の営業部としては、FLET'S光の普及拡大により環境への負荷軽減を図るなど、業務を通して環境保護に貢献していきたいと考えています。」

◆昨年度、ISO14001の認証ビルが、小笠原さんの職場でもある千葉富士見ビルにも拡大されました。この一年間のご苦労や今後の取組みの考え方についてお聞かせ下さい。

「昨年度は、ISO認証ビルを千葉富士見ビルにも拡大し、更新審査を受審するという計画が立てられましたので、このビルの取組みが原因で更新審査が通らなかったらどうしようという不安もありましたが、社員一丸となって取り組み、無事、認証を得ることができました。今後は、これまでの環境保護の取組みの定着を図り、来年1月に予定される維持審査に万全の体制で臨みたいと思います。」



[小笠原 みどり社員(NTT東日本-千葉営業部 所属)]



[松村 和彦社員(NTT東日本-千葉法人営業部 所属)]

【内部監査員へのインタビュー】

H18年度の内部監査員を務められました松村和彦さんに、内部監査を実施した際の感想等を聞いてみました。

◆これまで、環境の内部監査員のご経験はあったのですか。

「いえ、今回が初めてでした。最初、監査員として声がかかったとき、多少不安がありましたが、これまでの環境活動を実施する立場とは別の視点から当社の取組みを見てみようという思いから監査員を務めることにしました。」

◆内部監査は、どのようにして行われたのですか。

「H18年度の内部監査は、11月8日～9日の2日間、10名の内部監査員でチームを編成し、ヒアリングや職場実査、関係書類の確認などにより行いました。」

◆実際、内部監査を行ってみていかがだったでしょうか。

「内部監査は、ISOの更新審査のため外部審査を受審するにあたって、改善を要する項目を摘示し、それらを外部審査までに改善してもらうという考えから、やや厳しい目で行いました。その結果、どの部門もしっかりとした取組みをされておりましたが、若干の軽微な改善事項が散見され是正措置を求めました。この内部監査が認証取得に役立ったとすれば監査員として使命を果たせたという思いです。今後も、いろいろな形で環境保護活動の推進に貢献していきたいと思います。」

【地球環境保護の取組み】

》》「チーム・マイナス6%」の推進

NTT千葉グループでは、地球環境保護の取組みの一環として「チーム・マイナス6%」の活動に参画し、地球温暖化の防止に向け、グループを挙げて次のような取組みを推進してまいりました。

NTT千葉グループの取組み ～あたりまえのことを徹底して実施しよう～



- ❖ 冷房は28度、暖房は20度に設定しよう ー温度調節で減らそうー
- ❖ 「3UP」「4DOWN」運動の推進 ー階段利用で省エネー
- ❖ 社用車使用時の効率的なルートを選択 ー走行距離を減らそうー
- ❖ 車両への過積載をなくそう ー不要な荷物を降ろしてガソリンの節約ー
- ❖ PCの省電力設定、昼休み・時間外時の消灯、節水の実施
ー無駄な電気・水道の消費を減らそうー
- ❖ 両面印刷、集約印刷、裏面利用の徹底・ホッチキス留めの廃止
ー無駄な紙資源の消費を減らそうー
- ❖ ゴミ分別の徹底 ーリサイクルを推進しようー
- ❖ 各居室内への取組み内容・節電シール等の貼付け ー意識の向上ー

これらの取組みを、より実効あるものとするために、クール・ビズ(6月1日～9月30日)及びウォーム・ビズ(12月1日～3月31日)の実施、低公害車の導入、紙使用量増加の要因分析、社員個別ゴミ箱の全廃などを推進しました。

「チーム・マイナス6%」とは・・・

深刻な問題となっている地球温暖化の解決のため、世界各国が協力して策定した京都議定書が2005年2月16日に発効し、わが国は2008年～2012年の間に1990年比で温室効果ガスの6%削減が義務づけられました。これを実現するための国民的プロジェクトが「チーム・マイナス6%」です。

【地球環境保護の取組み】

》》「NTT千葉グループ水辺クリーンキャンペーン」の実施

社員の自然環境保護に対する意識高揚と、地域の美しい自然を守り、地域の皆様が気持ち良く暮せる生活環境作りを目指し、NTT千葉グループによる社会貢献活動の一環として、ボランティアによる海岸の清掃活動を実施しました。

約1kmにわたる海岸に廃棄・漂着したプラスチックやビニールなどの不燃物を拾い集め、クリーンで安全な海岸の再生に取り組みました。

実施概況については、次のとおりです。

□ 実施月日：平成18年10月14日（土）

□ 実施場所：稲毛海岸公園「いなげの浜」（千葉市美浜区高浜7-1-1）

□ 参加者：約280名

NTT東日本千葉支店、NTT東日本一千葉、NTT東日本コンシューマ事業推進本部千葉センタ、日本カーソリューションズ、NTTロジスコ、NTTソルコ、NTTファシリティーズ中央、NTTファイナンス、NTTインフラネット、NTTアクセスサービスシステム研究所、テルウェル東日本、和興エンジニアリング、大明、東電通、池野通建、コミュニチュア、日本コムシス、協和エクシオ、電友会の社員・会員及びご家族の皆様



〔海岸の清掃活動〕



〔活動後のアトラクション ―宝探し―〕



〔活動後のアトラクション ―腕相撲―〕

【地球環境保護の取組み】

》》 地域社会における美化活動の取組み

NTT千葉グループは、地域社会と一体となった美化活動に積極的に参画し、継続的に実施していくことが、地域社会のより良い未来を創造するものと考え、「よき企業市民」が果たすべき役割として、次のような美化活動に取り組んでいます。

● 公衆電話ボックス違法ビラ撤去活動

地域の環境美化、青少年健全育成の一環として、千葉県警及び千葉県の依頼を受け、公衆電話ボックス内の違法ビラ撤去に協力していただける県内のボランティアの方々に、「公衆電話ボックス違法ビラ撤去協力者証」を交付し、違法ビラ撤去活動を通じた健全な社会づくりを推進しました。

[平成18年度 協力者証交付対象者数]

千葉県少年補導員協議会 少年警察ボランティア	634名
千葉県県民生活課及び 県内の少年補導センター	532名
合 計	1,164名

● 千葉駅前オフィス町内会

千葉駅前にオフィスを置く企業が、企業の社会的責任として環境問題を考え、地域社会に貢献することを目的に平成4年2月に設立されました。「環境美化部会」と「古紙回収部会」で構成され、オフィスから排出される紙資源のリサイクル及び千葉駅前大通りの清掃(毎月1回)を実施しています。

● 幕張新都心まちづくり協議会

幕張新都心にオフィスを置く企業が、幕張新都心における調和のとれた未来型都市の実現を目指し、快適な都市環境を形成・保全し、新しいまちづくりを会員が協力して推進することを目的に平成2年2月に設立されました。「電波障害部会」「業務地域部会」及び「商業地域部会」で構成され、幕張新都心地区の清掃(年2回)及び国際大通りに設置されているプランターの花苗の移植(年4回)を実施しています。

● 地域清掃活動

自治体主催の清掃活動に各営業所の社員・家族がボランティア参加し、地域美化活動に取り組ましました。

[主な参加地域清掃活動]

自治体	実施日	活動内容
市 川 市	H18.5.28	江戸川河川敷の清掃
船 橋 市	H18.11.19	船橋市指定区域の街頭の清掃
船 橋 市	毎 月	街頭における違法ビラの撤去等
木更津市	H18.8.25	矢那川河川敷の清掃
柏 市	H18.5.11	柏駅周辺の清掃
松 戸 市	H18.12.3	新松戸駅周辺の清掃
我孫子市	H19.3.27	街頭における違法ビラの撤去等



[千葉駅前オフィス町内会清掃活動]



[幕張新都心まちづくり協議会花苗の移植活動]

【地球環境保護の取組み】

》》 地球環境にやさしい通信設備の構築

NTT千葉グループでは、地球環境保護活動の一環として、屋外RT-BOX(※)設備について、太陽光発電システム導入、CPリサイクル舗装、アットシールド・カラー塗装を行い、地球温暖化防止に繋がるCO2削減や産業廃棄物の削減に取り組みました。

※: RT-BOX=Remote Terminal(光加入者線遠隔多重伝送装置)を収容するボックス

このRT-BOX構築による地球環境保護への功績が高く評価され、平成19年6月8日、NTT東日本・高部社長より「**地球環境保護表彰**」を受賞いたしました。

なお、設備概要は次のとおりです。

□ 構築設備: 千葉県印西市船穂(西の原RT)

□ 構築時期: 平成18年9月

□ 構築内容:

太陽光発電システム	設備の空きスペースに太陽光パネルを設置し、RT-BOX設備内の照明、換気扇、測定機用コンセントへの電源に供給することで、電力量削減を図りCO2削減に貢献しました。
CPリサイクル舗装	地面に構築され除草を要したRT-BOX設備について、廃棄物として処理されているCP(コンクリートボール)の粉碎物を原資材として舗装をすることで、除草作業が軽減され、不要なCPのリサイクルにより廃棄物の減少を図りました。
アットシールド・カラー塗装	直射日光によるRT-BOX室内の温度上昇を防ぐため空調を利用していたところ、赤外線を反射し、耐久性に優れた特殊アクリルシリコン樹脂を使って、室内の温度上昇を下げ、かつ耐久性を向上させることでCO2削減に貢献しました。



[PR用プレート]



[太陽光発電システム]



[CPリサイクル舗装とアットシールドカラー塗装が施されたRT-BOX]

NTT千葉グループのCSRの取組み

- 安心・安全な社会づくりの取組み
- 地球環境保護の取組み
- 社会貢献の取組み
- コンプライアンス・企業倫理啓発の取組み

【社会貢献の取組み】

》》「電話お願い手帳」「ふれあい速達便」の寄贈

耳や言葉の不自由な方々が、円滑に用件や連絡を伝えることをお手伝いをするための冊子「電話お願い手帳」「ふれあい速達便」を、千葉県健康福祉部を初め、県内市町村の福祉課や福祉関係機関、大型スーパー等へ寄贈し、ユニバーサル社会の形成に取り組みました。

「電話お願い手帳」は、耳や言葉の不自由な方々が外出先で電話連絡等を行う際に、用件や連絡先を書いて近くの方に協力をお願いするコミュニケーションツールとしてご利用いただくもので、「私のかわりに電話をかけていただけますか」などのお願いカードや、複数の依頼内容（緊急・お願い・電話）などが掲載されています。この手帳は、昭和58年に千葉県の流山電報電話局（当時）で誕生し、今年で25回目の発行となります。

また、「ふれあい速達便」は、耳や言葉の不自由な方々のコミュニケーション手段として利用が増えているファクスの送信用紙を冊子にしたもので、平成2年に誕生しました。



「電話お願い手帳」と「ふれあい速達便」



「千葉県健康福祉部職員の皆様と記念撮影」



耳の不自由な人へと
電話お願い手帳寄贈
習志野でNTTなど



NTT木更津が
障害者向け寄贈
鴨川へ手帳と用紙



電話お願い手帳を寄贈
船大、旭、匠、瑞穂、香取などに900冊

〔千葉日報 平成18年12月27日付掲載〕〔房日新聞 平成19年1月5日付掲載〕〔常総新聞 平成19年2月27日付掲載〕

【社会貢献の取組み】

》》「年末チャリティーバザー」の開催

平成18年度の新たな社会貢献活動の取組みとして、家庭に眠っている日用品等を社員が持ち寄り、販売することによりリサイクル型社会の形成に貢献するとともに、収益金を福祉活動にお役立ていただくことを目的として、「年末チャリティーバザー」を開催しました。

当日は、新品や新品同様の品々が100円～1,000円の安価で販売されるということで、午前10時の開場とともに多数のお客様のご来場をいただき、約1,000点のバザー品が午後3時前には売り尽くされ、大好評のうちに終了いたしました。

なお、収益金20万円につきましては、市民福祉活動の助成等を行うことを目的に千葉県の出資や民間企業の寄付等により設立された、(財)千葉県地域ぐるみ福祉振興基金へ寄付いたしました。

バザーの開催概況については、次のとおりです。

□ 開催月日：平成18年12月16日(土)

□ 開催会場：NTT東日本千葉支店フレッツショールーム
(千葉市富士見1-12-16 NTT富士見ビル1F)

□ ご来場者数：約400名



【年末チャリティーバザー風景】

【山本社長(右)から基金・小川常務理事(左)へ収益金を贈呈】

【社会貢献の取組み】

》》「緑の募金」の寄付

森林整備や学校・公園などの緑化事業を推進する「緑の募金」については、NTT千葉グループでもその活動趣旨に賛同し、これまで毎年、募金活動を行ってきました。今年度も、社内各所に募金箱を設置し、集まった募金を寄付いたしました。

なお、実施概況については、次のとおりです。

□ 募金期間：平成18年10月16日(月)～10月31日(火)

□ 寄 付 先：(社)千葉県緑化推進委員会

□ 募 金 額：182,298円

＝ 「緑の募金」要領(抜粋) ＝

趣旨

森林は、水のふるさと、心のふるさとであり、人類共通の財産です。森林の育成管理は林業者や山村の人々だけに委ねておくだけでなく、国民一人一人が森林を自分のものと考え、それぞれの立場で、可能な方法で、森林づくりへ参加することが差し迫った国民的課題となっています。また、地球的規模で森林の現象が進行し、熱帯林の再生や砂漠化の防止に対する関心も高まっています。

緑の募金は、このような国民の森林・みどりに対する関心を、具体的な「森を守り育てる」取り組みへと結集するため、平成7年4月「[緑の募金による森林整備等の推進に関する法律](#)」として、法制化されました。また、平成14年に政府が策定した「地球温暖化対策推進大綱」においては、森林の二酸化炭素を吸収貯蔵するはたらきが高く評価され、緑の募金は重要な推進方策として位置づけられました。

実施主体

農林水産大臣の指定を受けた法人である国土緑化推進機構、及び、都道府県知事の指定を受けた[都道府県緑化推進委員会](#)が、募金主体となります。



〔緑の募金シンボルマーク〕

〔山本社長(左)より千葉県緑化推進委員会・鈴木常務理事(右)へ募金を贈呈〕

【社会貢献の取組み】

》》 地域イベントの開催

NTT千葉グループでは、地域社会の活性化や文化発展へ貢献するため、ショールームなどを活用して各種イベントを開催しました。

●「NTT児童画コンクール」

千葉県内の小学生の皆さんに、絵を描くことを通じてもっと通信の世界に親しんでもらおうと、インターネットや電話に関する絵画を募集して、優秀な作品を表彰する児童画コンクールを毎年開催しています。昭和25年にスタートして、H18年度で57回目の開催となりました。なお、今回のコンクールは概要は次のとおりです。

●コンクール

- ・主催：NTT東日本千葉支店／後援：千葉県及び千葉県教育委員会
- ・募集期間：平成18年7月中旬～9月中旬
- ・テーマ：全学年共通＝「私の考えたインターネットの世界」／1～3年生＝「電話とわたし(ぼく)」 「こんな電話がほしいな」等

・応募校：499校／応募数：5,490点

●展示会(特選作品11点を展示)

- ①平成18年11月18日(土)～12月26日(火)
於・NTT東日本千葉支店フレッツショールーム
- ②平成19年1月10日(水)～1月31日(水)
於・千葉県青少年女性協会会館



〔「NTT児童画コンクール」表彰式〕

●「似顔絵展」

NTTのOBをはじめとする筆自慢の方々による似顔絵展を、平成19年2月3日～3月9日までの間、NTT東日本千葉支店フレッツショールームにおいて開催し、多数のお客様のご来場をいただきました。



〔似顔絵〕

●「インターネット無料セミナー」

NTTの回線をご利用の千葉県在住のお客様を対象に、毎月1回、無料セミナーを開催いたしました。インターネット入門からホームページ作成まで、分かり易い指導と好評を頂戴しました。



〔「インターネット無料セミナー」模様〕

【社会貢献の取組み】

》》 地域イベントへの協賛

NTT千葉グループでは、地域社会の発展・活性化に貢献するため、次のような各種イベントに協賛してまいりました。

●ちばデスティネーションキャンペーン

千葉県が、観光振興を通して県内経済や地域づくりの活性化を図るために平成19年2月～4月にかけて開催したキャンペーンに、当社発行のフリーペーパー「アレッタ」(※)に千葉県とタイアップして堂本県知事の記事を掲載したほか、当社運営の千葉県地域情報発信サイト「まるちば」へのリンクを張るなど、キャンペーンのプロモーションに貢献しました。

INTERVIEW

■千葉県知事 堂本 暁子さん

(アレッタ 2007年1月号掲載)

ちばデスティネーションキャンペーン特別企画。千葉県知事の堂本暁子知事にアレッタ編集長がインタビュー。
QUESTION「千葉のデスティネーションキャンペーンへの意気込みと県民の楽しみ方をおしえて下さい！」
ANSWER「千葉の多彩な魅力を、自分の足で歩いて『発見』していただきたいと思います」



※「アレッタ」は、千葉で「暮らす」「働く」女性を応援する地域情報紙です。(発行部数 20万部/毎月)

●千葉市国際文化フェスティバル

千葉市が、姉妹都市を中心とした諸外国の都市との友好親善の促進を図るため、毎年開催しているフェスティバルに協賛し、千葉市の国際化推進に貢献しました。

今回は、平成18年10月に中国天津芸術団を招き、舞踊や歌を通して文化交流を図りました。



〔中国天津芸術団の皆様と記念撮影〕



〔古典舞踊「絶世美人」の1シーン〕

●地域イベントへの参加

各営業所では、地元の各種イベントへの参加を通して、地域活性化や安全なまちづくりなどの社会貢献活動に取り組みました。

〔主な参加地域イベント〕

イベント	主催	実施日	活動内容
街の安全パトロール	市川市	H18.7.24 ～8.31	公共機関や企業・市民等が一体となった「安心・安全なまちづくり」実現のための活動の一環として安全パトロールに参加
柏まつり	柏市・商工会議所 ・町内会	H18.8.26 ～27	地域まつりの町内会の出店販売(飲食物)に参加
我孫子消費者生活展	我孫子市	H19.2.10 ～11	地震災害時における便利グッズ・建物耐震技術の紹介、電話等のライフラインサービスの展示・説明会に参加

【社会貢献の取組み】

》》 社会貢献活動への表彰

NTT千葉グループでは、企業体による社会貢献だけでなく、グループで働く社員一人ひとりの豊かな地域社会づくりへの貢献に対する意識をより一層醸成するため、社員の社会貢献活動に対する表彰を行っています。

● 犯人逮捕への協力

- ・表 彰 名： 柏警察署長表彰(平成19年4月25日)、NTT東日本ー千葉・社長表彰(平成19年5月8日)
- ・被表彰者： 平塚 富男社員、神田 守社員、鈴木 健一社員
(いずれもNTT東日本ー千葉 設備部アクセスサービス部門 東葛FS・第一サービス担当 所属)
- ・表彰事由： 上記社員は、平成19年3月9日に業務で千葉県柏市内を車で走行中、ワゴン車に乗った男性が高齢の女性が持ったバックを背後から近づきこれを奪ったのを目撃。直ちに犯人の車を追跡し、ナンバープレートを110番通報。この情報などが決め手となって後日、犯人が逮捕された。

● ボランティアによる少年野球指導

- ・表 彰 名： (社)日本善行会・平成18年度善行表彰(平成18年11月18日)
 - ・被表彰者： 五木田 告二社員(NTT東日本ー千葉 設備部 専用サービス部門 カスタマサービス担当 所属)
 - ・表彰事由： 千葉県山武市において、ボランティアにより約16年に亘り少年野球のコーチとして野球の指導にあたりとともに、審判部要職を務め数多くの大会の審判を行うなど、子供たちの育成に貢献した。
-
- ・表 彰 名： NTT東日本千葉支店・支店長表彰(平成19年7月4日)
 - ・被表彰者： 中島 正憲社員(NTT東日本ー千葉 設備部 IPエンジニアリングセンタ サービス総合担当 所属)
 - ・表彰事由： 千葉県船橋市において、ボランティアにより約10年に亘り少年野球のコーチとして野球の指導にあたりとともに、選手や親の相談相手となるなど技術面のみならず精神面においても子供たちの育成に貢献した。



坂口署長から感謝状を受ける
神田さんら

〔柏警察署長表彰／千葉日報 平成19年5月18日付掲載〕

ひ
つ
た
く
り
犯
追
跡
、
逮
捕
に
協
力

柏
署
お
手
柄
3
人
に
感
謝
状



〔(社)日本善行会・善行表彰式〕

【社会貢献の取組み】

》》 企業見学会の開催

NTT千葉グループでは、豊かな生活・社会づくりや災害時のライフラインとして、通信サービスの提供という重要な社会的使命を担う当社事業について、より身近に知っていただくために地域の皆様への企業見学会を開催しました。

普段、目にする機会の少ない通信設備や保守・販売のサービス現場を見学していただき、参加者の皆様から感謝の言葉を頂戴しました。

見学会の概要については、次のとおりです。

□ 開催月日：平成18年10月12日(木)

□ 見学者：地域の高校生 10名

□ 見学内容：通信設備見学、職場見学(113センタ、116センタ)、意見交換 等

NTT 東日本という会社

- 設立 → 平成11年7月1日
- 売上高 → 2兆1253億円
- 事業地域 → 17都道府県
- 従業員数 → 8150人
(NTT東日本グループ連結 61100人)

♥ 主な仕事内容 ♥

- 電話事業 → 昔からの大事な事業。
- カードバンド事業 → これから一番重要!!
- ソリューション事業 → 企業などが相手。

Q AND A

Q. この仕事のやりがいは何ですか?
A. 日々新しいサービスをつくり出していることです。

Q. NTTのマークの秘密は何ですか? ①★
A. 企業のダイナミズムと、絶え間ない自己革新を表しています。

Q. 普段から心がけていることは?
A. 個人情報の扱いには特に気を付けています。

Q. どのような会社を目指していますか?
A. コミュニケーションを通じ、世の中の役に立つ会社です。

Q. 求めている人材は、どんな人ですか?
A. コミュニケーションが好きで、社会の役に立ちたい人です。

113センタ

お客様からの相談を受け、アドバイス、修理などのサポートをします。

千葉113センタ(近見だい)

116センタ

新規のお客様の登録や引越しの時の手続などをします。

赤羽116センタ(赤羽母だい)

感想

今回、今まで知らなかったような、まったく新しいNTT東日本の顔を見ることができ、驚き、そして、うれしく思います。特に驚いたのは、地下トンネルを見ることができたことです。普段みんながいつでも電話を使える、ありがたさを感じることもできました。今回の経験も、これからの社会生活に役立てていこうと思います。

ありがとうございました!!

[見学された高校生の皆様によるレポート]

NTT千葉グループのCSRの取組み

- 安心・安全な社会づくりの取組み
- 地球環境保護の取組み
- 社会貢献の取組み
- **コンプライアンス・企業倫理啓発の取組み**

【コンプライアンス・企業倫理啓発の取組み】

》》「CSR推進」のためのeラーニング研修の実施

NTT千葉グループの社員として、遵守すべき基本ルールを理解と定着化の更なる向上を図るとともに、社員一人ひとりのビジネスリテラシーに対する意識改革を推進するため、社内イントラネットを活用したeラーニングによるCSR研修を実施しました。

受講者本人が自己の弱点を認識し、今後の自己研鑽の指標とする取組みができました。

実施概況については、次のとおりです。

研修内容	研修対象	H18 9 月	10 月	11 月	12 月	H19 1 月	2 月	3 月
内部統制(米国企業改革法(SO法)404条への取組み)	全担当課長	↔						
情報セキュリティ	全担当課長	↔						
お客様情報保護・社員等個人情報保護	全担当課長		↔					
CSR・コンプライアンス	全担当課長			↔				
法務・契約の基礎	全担当課長					↔		
サービス管理(適正な勤務時間管理)	全担当課長						↔	
人権啓発	全担当課長							↔
CSR(CSRの基礎・NTTグループのCSRへの取組み等)	全社員(契約社員・派遣社員を含む)						↔	

【コンプライアンス・企業倫理啓発の取組み】

》》「公正競争確保」のための研修の実施

NTT千葉グループでは、これまで電気通信分野における公正競争の確保に向けて、関係法令・指針等の遵守徹底を図ってまいりましたが、H18年度におきましても、NTTグループ内外無差別による公正競争の確保とお客様情報の適正な取扱いなど、コンプライアンスのさらなる浸透・定着に向け、次のとおり研修会を実施しました。

【公正競争勉強会】

□ 実施月日：平成18年11月17日（金）

□ 参 加 者：74名

NTT東日本千葉支店、NTT東日本一千葉、NTTインフラネット、NTTファシリティーズ、通信建設会社 各社の関連部門

□ 主な実施内容

1. 相互接続の動向と公正競争に向けた取組み
2. ダークファイバの提供
3. ドライカップ、番号ポータビリティ、DSLの提供 等

【情報管理啓発員等研修】

□ 実施月日：平成19年2月23日（金）・3月2日（金）

□ 参 加 者：約220名

情報セキュリティ管理者（各部長・営業所長）、情報セキュリティ管理者補佐（各部門長等）、情報管理啓発者（各担当課長）

□ 主な研修内容

1. 相互接続の基本理解
2. 競争ルールの推移と枠組み
3. 非対象規制の導入と公正競争
4. 情報管理と公正競争 等

【コンプライアンス・企業倫理啓発の取組み】

》》「企業倫理・人権啓発」のための研修の実施

社会の持続的な発展に貢献することが、企業の社会的責任であるとの認識にたち、NTT千葉グループに働く社員一人ひとりに対し、企業市民として高い倫理意識の醸成や人権・同和問題の解決に向け正しい理解と認識を深めるため、企業倫理・人権啓発研修を実施しました。

各ビルへ講師が出向いて研修を実施することにより、効率的に研修を行い、多くの社員に対しコンプライアンス・企業倫理に対する意識を醸成し、不正・不祥事を未然に防ぐ取組みができました。

実施概況については、次のとおりです。

□ 実施期間：平成18年6月21日（水）～平成19年2月27日（火）

□ 実施ビル：8ビル

NMビル、幕張ビル、千葉富士見ビル、千葉別館ビル、成田赤坂ビル、
茂原新館ビル、銚子ビル、市川平田ビル

□ 実施回数：32回

□ 実施時間：1～2時間

□ 受講者：1,097名

NTT東日本千葉支店、NTT東日本一千葉、NTT東日本コンシューマ事業
推進本部千葉センタ、の社員・契約社員・派遣社員

□ 主な研修内容

1. 企業の社会的責任
2. CSRとしての人権
3. ユニバーサルデザイン
4. 男女雇用機会均等法の改正
5. セクハラ、パワハラ問題
6. 同和問題
7. 企業倫理に向けた取り組み 等

【コンプライアンス・企業倫理啓発の取組み】

》》「人権にちなむポスター・標語」の募集

人権啓発活動の一環として、NTT千葉グループにおける人権意識の高揚と人権に対する理解と認識を深めることを目指し、社員（契約社員、派遣社員を含む）及び家族を対象にポスター・標語を募集しました。

夏休み期間中の約1ヶ月半にわたる募集で、特にポスターは多くのご家族の方から応募があり、人権意識の高揚が図られました。

募集・応募の概況については、次のとおりです。

□ 募集期間：平成18年7月18日（火）～8月31日（木）

□ 応募作品数：標語 3, 829点

ポスター 23点

= 優秀作品 =

【NTT東日本千葉支店】

標語の部 歩いても 歩幅が違う それぞれに あてにならぬ 自分の物指し
（設備部 石井完司さんの作品）

あいさつは ふれあう心の 第一歩
（法人営業部 平塚大善さん作品）

【NTT東日本-千葉】

標語の部 なにげない一言が 心につきささり さりげない一言が 心の支えに
（営業部 岩崎和子さんの作品）

助けてと 言えない人もいるんだよ あなたの勇気で みんなが変わる
（営業部 中田幸さんの作品）

ポスターの部



坂本晃那さんの作品
（法人営業部 坂本春雄さん家族）



岩田一希さんの作品
（法人営業部 岩田康弘さん家族）

NTT千葉グループのCSR基本方針

《資料》

□ NTT千葉グループのCSR基本方針(1)

【支店長／社長メッセージ】



東日本電信電話(株)
千葉支店長
(株)NTT東日本ー千葉
代表取締役社長
山本 智昭

いま、相次ぐ企業の不祥事を背景に、CSR(企業の社会的責任)が強く問われています。また、社会世相を見れば、教育現場でも、家庭でも、伝統的な倫理観や社会正義が揺らいでいるということが、様々な犯罪や事件で取り沙汰されています。自然環境保護についても、懸案であるゴミ問題や自然破壊が解消されたとは到底言い難いでしょう。

今後、広く企業を取り巻く状況を見渡した場合に、NTTとして社内的な不法・不正行為を如何に規律していくかだけでは済まなくなっているのです。こうした外部環境の下で、企業が社会悪を黙認したまま事業運営を続けることは許されません。社会の一員として如何に社会に対してその役割と責任を果たしていくかということが、お客さまや株主からも求められてきています。

このような背景から、この数年、時代の要請であるCSR経営への対応が当社の焦眉の急となってきているところですが、企業の社会的責任を果たすうえで最も大切なことは、このCSRとは具体的に何をすれば良いのかを、社員一人ひとりが自ら考え、自ら実行していくことだと思います。

さらには、私たち千葉グループの経営の中核にある企業理念と行動指針こそ、CSRの理念と通底する思想であり、社会とお客さまの豊かな未来づくりに貢献する決意を明らかにしたものであることを再認識して欲しいと思います。日々着実に企業理念を実践することが、すなわちCSRの実践にも繋がります。お客さまサービスの徹底、豊かな社会づくりに努めていただきたいと思います。

企業理念

私たちは、常に未来に目を向けながら、最高の技術を持って、お客さま一人ひとりに最適なコミュニケーションサービスを提供することで、豊かな千葉の実現に向け貢献する企業であり続けます。

行動指針

1. 総ての仕事はお客さまのため。一人ひとりが迅速、親切、丁寧に。
2. プロ意識を持ち、自ら考え、責任を持って行動しよう。
3. 成長しよう会社と自分の未来のため。チャレンジしよう自らの成長のため。
4. いますぐとりかかろう。創意工夫とフットワークで。
5. 社員の技術・知識・知恵をぶつけ合って、新たな価値の創造に挑戦しよう。
6. お客さまのプライバシーと会社の信用を守ろう。財産である情報を扱う責任と自覚を胸に。

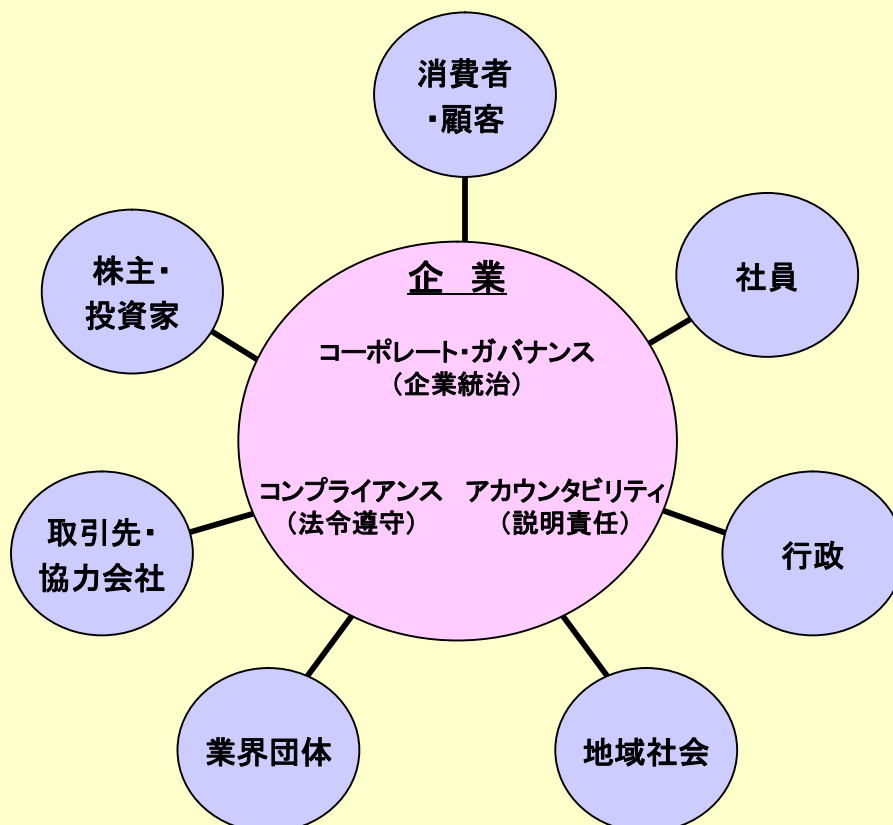
□ NTT千葉グループのCSR基本方針(2)

CSRって、なんですか？

CSR(=Corporate Social Responsibility／企業の社会的責任)とは、企業が経済活動を行うに際し、その存立基盤である社会や環境に関する課題に対して、社会的な役割と責任を積極的に果たしていくことです。

かつての企業経営は、経済的側面に重心が置かれていましたが、企業活動がもたらす様々な社会的問題が顕在化し、ステークホルダー(利害関係者)から厳しい批判の眼差しが向けられ始めると、企業活動について社会との関わりの中で問い直し、CSRを経営の中核に据えようとする考えが次第に高まりを見せてきました。

企業犯罪や企業不祥事が後を絶たないいま、企業の社会的責任を果たすため、改めてコンプライアンス(法令遵守)意識の醸成、コーポレート・ガバナンス(企業統治)の機能化、そしてステークホルダーへのアカウンタビリティ(説明責任)の重要性が叫ばれています。



《参考》CSRの代表的定義 ー谷本寛治教授(一橋大学)ー

「CSRとは、①企業活動のプロセスに社会的公正性や倫理性、環境や人権への配慮を組み込み、②ステークホルダーに対してアカウンタビリティを果たしていくこと」

□ NTT千葉グループのCSR基本方針(3)

いま、なぜCSRなんですか？

これまで、企業に対する評価は、収益性や成長性など主に財務面から行われてきました。しかし、企業の社会的責任が強く問われ始めてくると、経済的側面だけでなく、社会的・環境的側面に対してもどれだけ積極的に取り組んでいるか、どれだけ責任を果たしているか、が社会的な評価を獲得し、持続的な発展を遂げていくうえでのカギとなります。

こうした企業評価基準の変化は、企業のCSRへの対応状況を、購買や調達、投融資先の選定基準とするという具体的な形となって現れ始めています。

このような背景から、CSRへの対応を怠った企業は次第に市場から排除されてしまうため、CSR経営への取組みがいずれの企業にとっても重要な経営課題となってきたわけです。



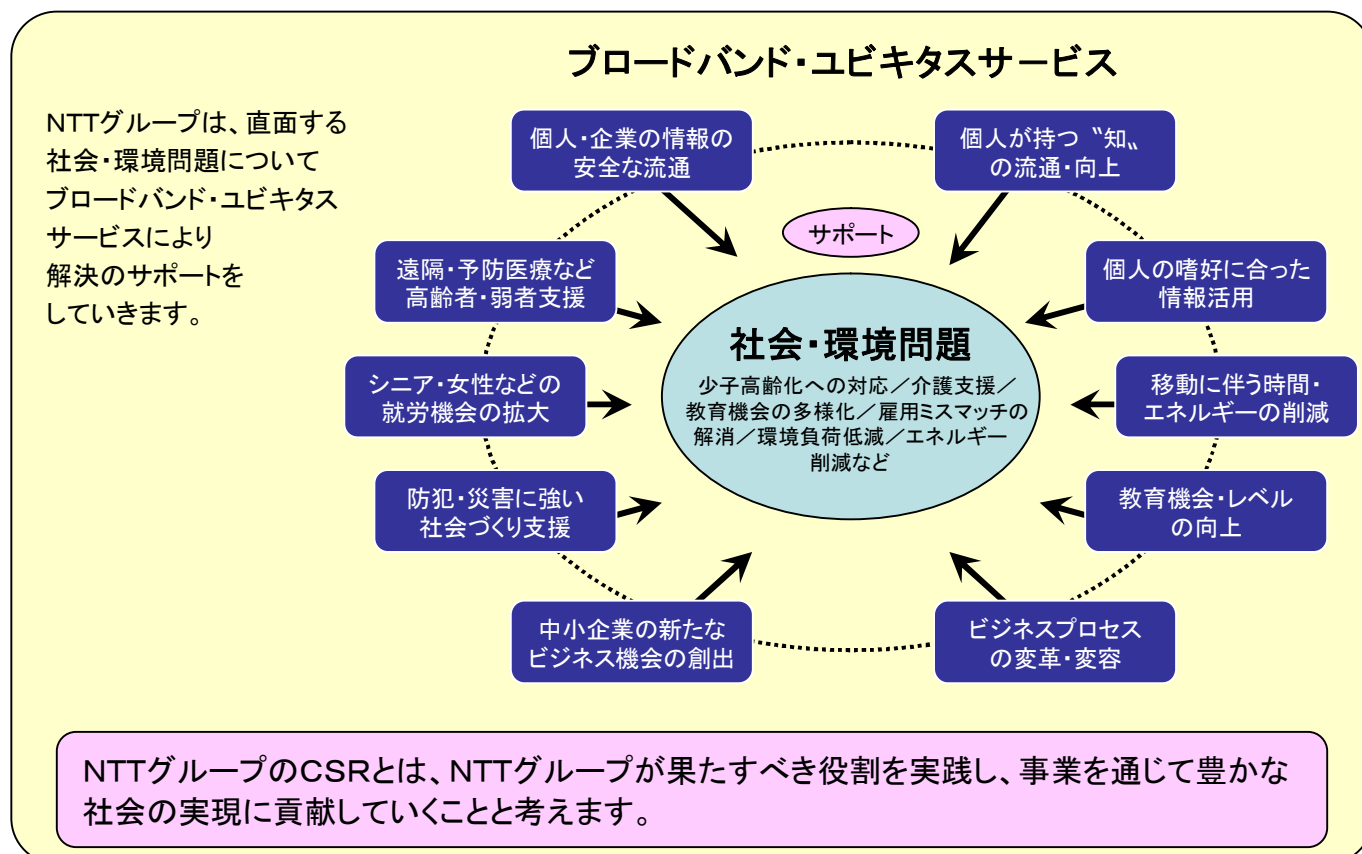
□ NTT千葉グループのCSR基本方針(4)

NTTグループでは、
どのようにCSRに取り組んでいくのですか？

NTTグループでは、次の3つをミッションとしています。

- Mission 1** 企業価値を高め、株主さまをはじめ皆さま方の期待に応えていくこと
- Mission 2** NTT法に定められているユニバーサルサービス等の“法の責務”を果たしていくこと
- Mission 3** e-Japan戦略等、国のIT戦略の実現に貢献していくこと

この3つのミッションを貫く経営の基本姿勢として「企業としての社会的責任を自覚しつつ、社会の持続的な発展に貢献していくこと」を実践し、コンプライアンス（法令遵守）や、個人情報保護に取り組むことはもとより、ブロードバンド・ユビキタスサービスを通じ、日本や世界が抱える社会・環境問題などの解決に向けて、より積極的に貢献していきます。



□ NTT千葉グループのCSR基本方針(5)

「事業を通じて豊かな社会の実現に貢献する」って？

- ブロードバンド・ユビキタスサービスが進展すれば、暮らしが一層便利になったり、いろいろな省エネや社会福祉が可能となります。

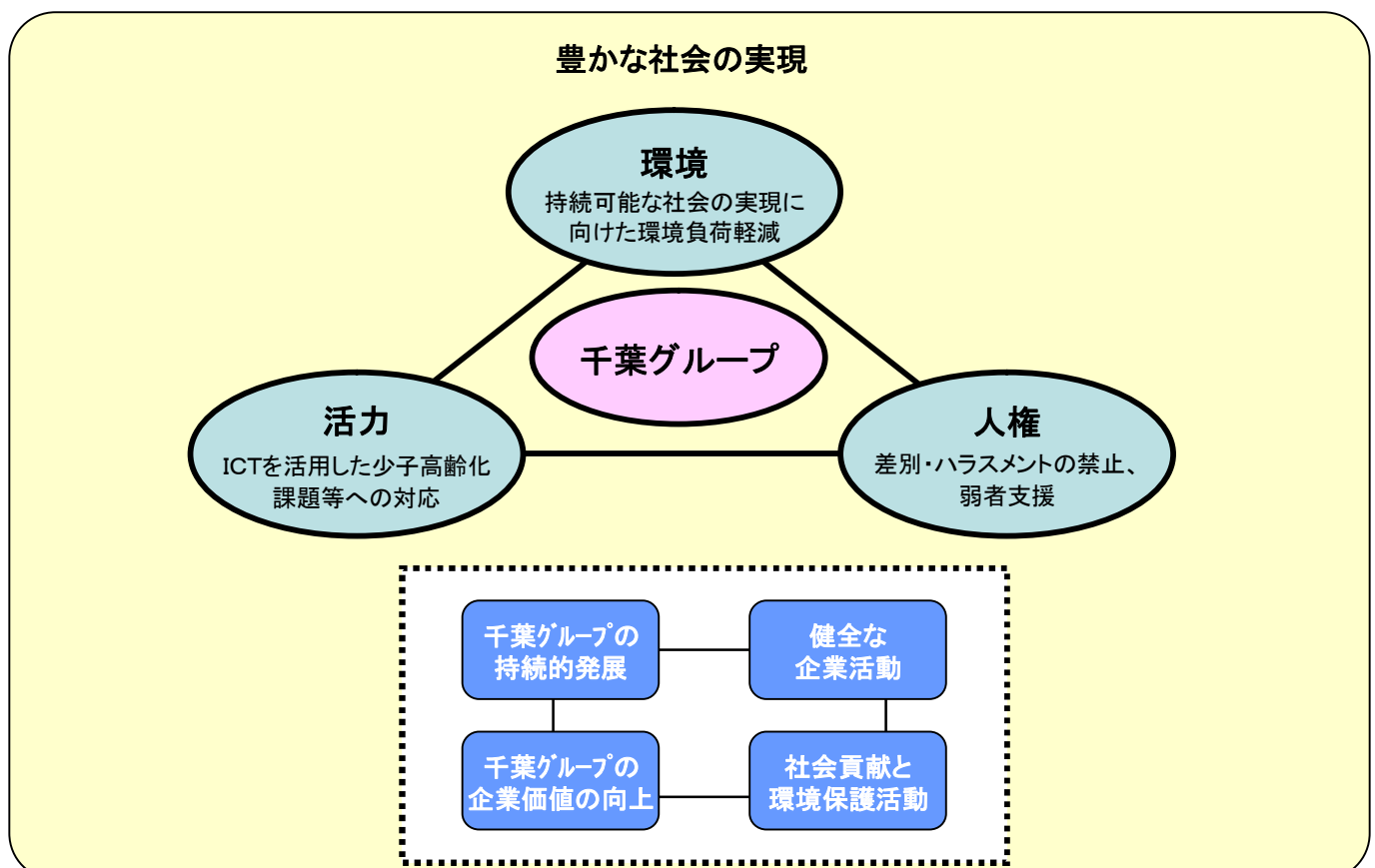
これまで会議のためにクルマで移動していた参加者は、通信を活用しその場にいながら会議に参加できたり(→クルマを使わないことで資源を節約、CO2を削減)、働く「時間」と「場所」が制限されている子育て中や障害者の方々などが、ICT(情報通信技術)を利用して自宅で働くことができるようにもなります。

また、情報化社会の中で重要性が増しているプライバシー保護の問題についても、私たちNTTのセキュリティ技術が役立っています。

より便利な、より豊かなビジネススタイルやライフスタイルを実現していくために、ブロードバンドやユビキタス社会をすみやかに浸透させることが、NTTらしい事業を通じたCSRと考えます。

- 災害に強い通信サービスの提供も、NTTグループの大切な役割です。

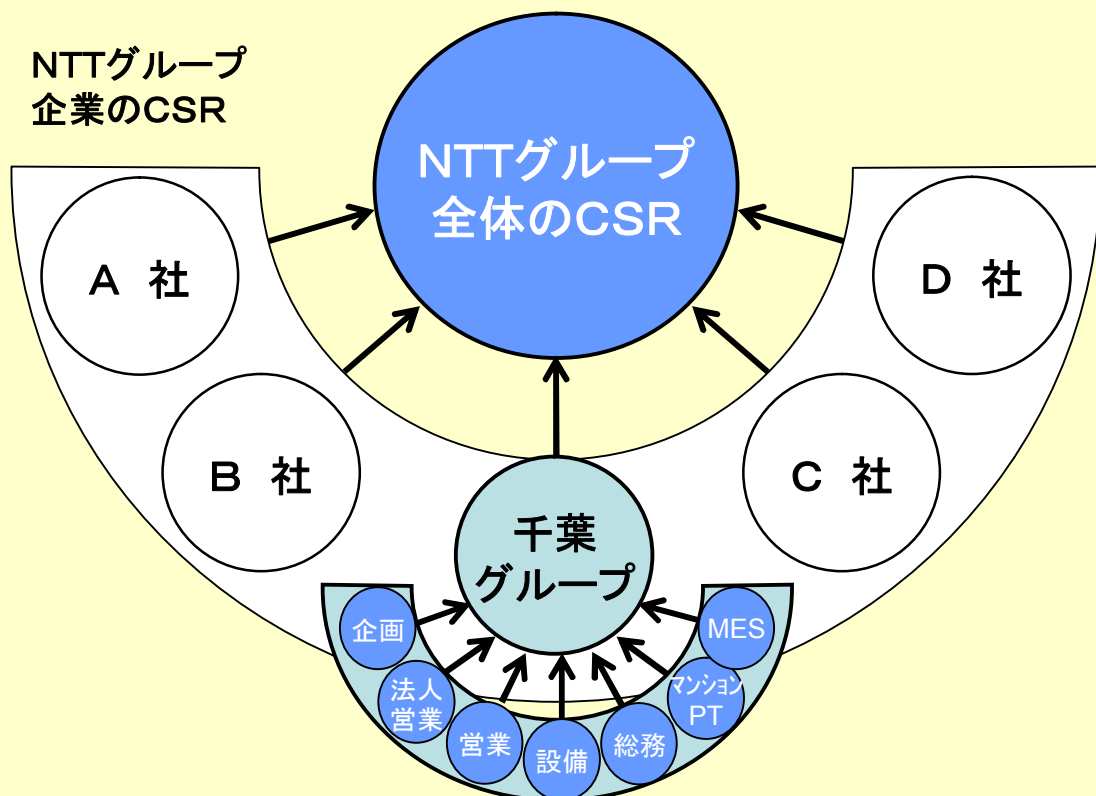
NTTグループでは、ライフラインとして不可欠な通信サービスを提供し続けるため、災害時に備え、「通信ネットワークの信頼性向上」「重要通信の確保」「サービスの早期復旧」を災害対策の基本方針として、様々な対策に取り組んでいます。



□ NTT千葉グループのCSR基本方針(6)

私たちは、どのようにCSRに取り組めばいいの？

日常業務の中で、高い倫理観を持って行動し、個人情報の取り扱いに細心の注意を払いながら、ブロードバンド・ユビキタス社会の健全な発展のためにそれぞれの役割を果たしていくことが、NTTグループ社員にとってのCSRと言えます。つまり、社員一人ひとりがCSRの視点に立って、それぞれの担当業務を通じてステークホルダーに対する責務を果たしていくことです。



高い倫理観を持って法令や規程を守ることはもちろん、ステークホルダーの皆さまが、何を期待しているのかについて、耳を傾け、それに応えていくように日常業務に取り組みましょう。

□ NTT千葉グループのCSR基本方針(7)

小さな社会貢献活動も、CSRになるの？

NTTグループでは、「企業も社会の一員であり、良き企業市民として地域の皆さまと一体となって活動を行う」ことを基本とし、様々な社会貢献活動に取り組んでいます。また、社員一人ひとりのボランティア活動も推進。各種支援制度を導入するなどサポートを行っています。

千葉グループにおいても、地域に根ざした社会貢献活動に取り組んでいます。例え一つひとつは小さな活動でも、グループ社員やその家族の力を合わせれば、大きな力となります。一人ひとりが積極的に継続して参加することが、より豊かな社会づくりに繋がっていくのです。

例えば・・・

社会福祉

教育・
文化振興

地域振興
・交流

自然環境
保護

スポーツ
振興

千葉グループ社員、約4千人。
一人ひとりができることを行えば・・・

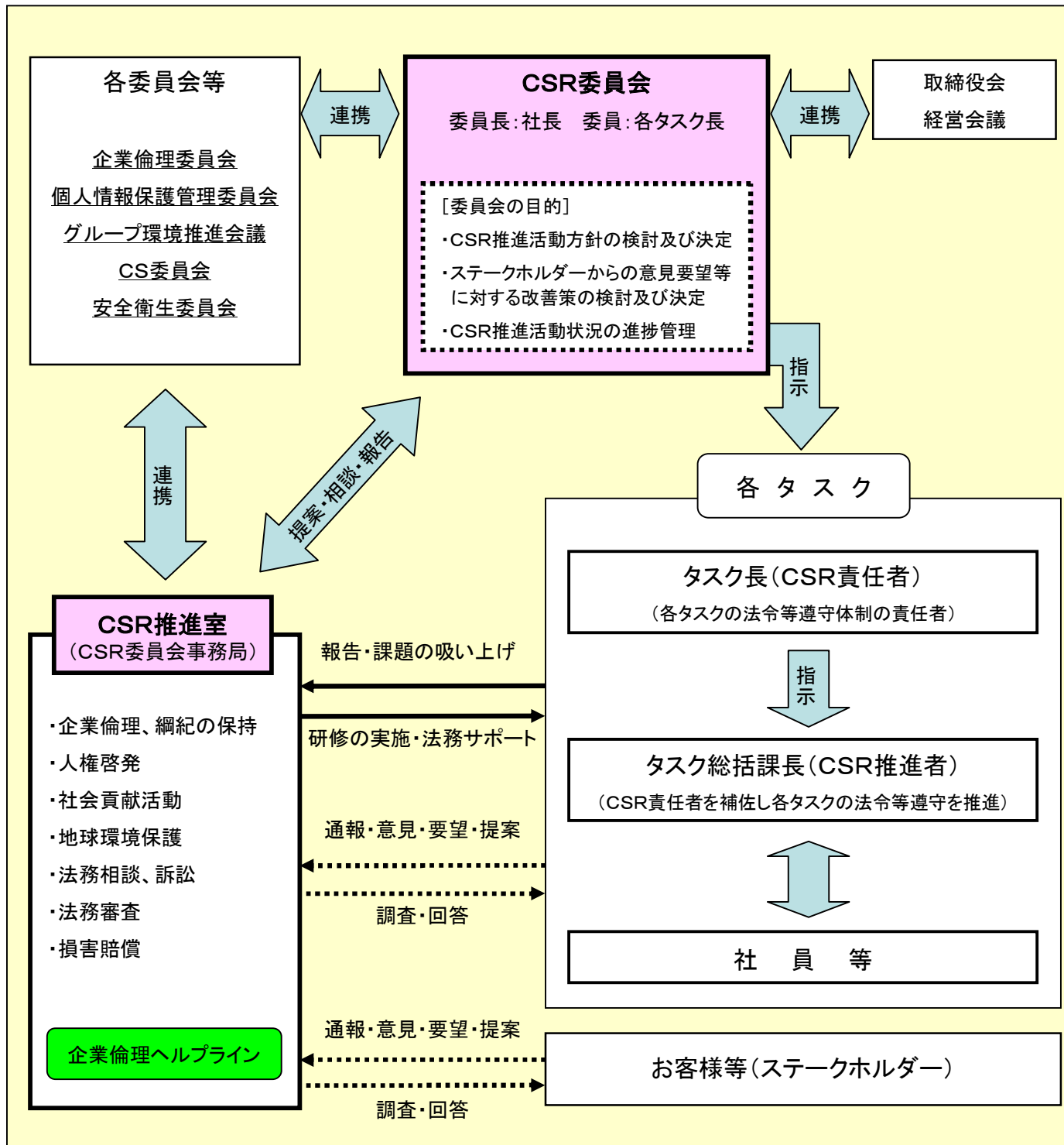
社会への大きな貢献

社員一人ひとりが行う社会貢献活動が、地域社会の振興・活性化に貢献し、豊かな社会の実現に繋がります。これらのことを理解するとともに、積極的に参加していきましょう。

□ NTT千葉グループのCSR基本方針(8)

千葉グループのCSR推進体制は？

平成18年4月に、社長及び各タスク長をメンバーとする「CSR委員会」を設置するとともに、総務部内に「CSR推進室」を新設しました。各タスクや委員会等と連携を図りながら、千葉グループにおけるCSR推進に取り組んでいます。



□ NTT千葉グループのCSR基本方針(9)

NTTグループCSR憲章

■ CSRメッセージ

私たちNTTグループは、情報通信産業の責任ある担い手として、最高のサービスと信頼を提供し、“コミュニケーション”を通じて、人と社会と地球がつながる安心・安全で豊かな社会の実現に貢献します。

■ CSRテーマ

人と社会のコミュニケーション

1. 私たちは、より豊かで便利なコミュニケーション環境を実現するとともに、情報通信技術を活用し、人口減少・高齢化社会におけるさまざまな課題解決に貢献します。

人と地球のコミュニケーション

2. 私たちは、自らの環境負荷を低減し、地球にやさしいコミュニケーション環境を構築するとともに、情報通信サービスの提供を通じて社会全体の環境負荷低減に取り組めます。

安心・安全なコミュニケーション

3. 私たちは、情報セキュリティの確保や通信の利用に関する社会的な課題に真摯に取り組み、安心・安全な利用環境と新しいコミュニケーション文化の創造・発展に尽くします。

4. 私たちは、社会を支え生活を守る重要なインフラとして、災害時にも強い情報通信サービスの提供に努め、いつでも、どこでも、だれとでもつながる安心と信頼を提供します。

チームNTTのコミュニケーション

5. 私たちは、“チームNTT”の一員として、責任と誇りを胸に、高い倫理観を持って事業に取り組み、個の成長に努めるとともに豊かな地域社会づくりを推進し、社会的使命を果して行きます。

※チームNTTとは、派遣社員・契約社員も含めたNTTグループで働く社員のみならず、パートナーの皆さま、NTTグループのCSRに賛同する退職した方々です。

□ NTT千葉グループのCSR基本方針(10)

NTTグループ企業倫理憲章

1. 経営トップは、企業倫理の確立が自らに課せられた最大のミッションのひとつであることを認識し、率先垂範して本憲章の精神を社内に浸透させるとともに、万一、これに反する事態が発生したときには、自らが問題の解決にあたる。
2. 部下を持つ立場の者は、自らの行動を律することはもとより、部下が企業倫理に沿った行動をするよう常に指導・支援する。
3. NTTグループのすべての役員および社員は、国内外を問わず、法令、社会的規範および社内規則を遵守することはもとより、公私を問わず高い倫理観を持って行動する。
とりわけ、情報流通企業グループの一員として、お客様情報をはじめとした企業内機密情報の漏洩は重大な不正行為であることを認識し行動するとともに、社会的責務の大きい企業グループの一員として、お客様、取引先などとの応接にあたっては過剰な供授を厳に慎む。
4. NTTグループ各社は、役員および社員の倫理観の醸成に資するべく、機会をとらえ企業倫理に関する社員教育を積極的に実施する。
5. NTTグループのすべての役員および社員は、業務の専門化・高度化の進展に伴い発生が懸念される不正・不祥事の予防に努めるとともに、NTTグループ各社は、契約担当者の長期配置の是正や、お客様情報等の保護に向けた監視ツールの充実など、予防体制の整備を徹底する。
6. 不正・不祥事を知ったNTTグループのすべての役員および社員は、上司等にその事実を速やかに報告する。
また、これによりできない場合は、「企業倫理ヘルプライン(相談窓口)」に通報することができる。なお、不正・不祥事を通報した役員および社員は、申告したことによる不利益が生じないよう保護される。
7. 不正・不祥事が発生したときは、NTTグループ各社は、迅速かつ正確な原因究明に基づく適切な対処によって問題の解決に取り組むとともに、社会への説明責任を果たすべく、適時・適確な開かれた対応を行う。

□ NTT千葉グループのCSR基本方針(11)

NTT千葉支店グループ 環境方針

[基本理念]

NTT東日本千葉支店グループは、地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つと認識し、自然環境の保全につとめ、環境に配慮した、よりよい企業活動を目指します。

[基本方針]

NTT東日本千葉支店グループは、「NTT東日本地球環境憲章」に従い、千葉県内において、新たな価値と可能性を持つ優れた情報流通サービスの提供を通し、地域の環境保全に貢献するため、以下の方針に基づき環境マネジメントを推進します。

行動指針1 情報流通サービス事業にかかわる環境側面を考慮し、以下の点を重点に取り組めます。

1) 環境に配慮したシステムとサービスの提供による通信分野でのエネルギー消費低減、資源の有効活用 2) 電気通信設備の設置、運用に際しての資源リサイクルと廃棄物処分量削減 3) 事務業務に伴う環境負荷の低減と環境配慮型商品購入による省資源活動の推進

行動指針2 環境マネジメントシステムを構築し、継続的改善及び汚染の予防をはかります。

行動指針3 国、地方自治体の環境規制及び当支店グループが受け入れたその他の要求事項を順守します。

行動指針4 環境方針に沿った目的及び目標を設定し、必要に応じ見直します。

行動指針5 地域の環境保護活動に積極的に参加し、地域社会に貢献します。

□ NTT千葉グループのCSR基本方針(12)

NTT千葉支店グループ 情報セキュリティに関する行動指針

1. 関連法令と社内規程を遵守する。
2. 組織内の体制及び組織外(第三者・委託先)からのリスクを認識する。
3. セキュリティに関する役割及び責任を認識する。
4. 定期的に必要かつ適切な教育・啓発を実施し、知識の向上に努める。
5. セキュリティ事故・事件への対処及び不正行為等への罰則を認識する。
6. モラル・倫理観を持って行動し、情報の漏洩・窃用・知得を行わない。
7. 会社施設・情報処理設備・記憶媒体・紙媒体の管理を徹底する。
8. パスワード管理に注意し、付与されたアカウントへの責任を認識する。
9. 電子メール等、情報交換に関するリスクを認識し、適切な対策を講ずる。
10. 明確に許可されていなければ、全て禁止事項であることを認識する。

□ CSR推進室長あいさつ ー編集後記にかえてー



東日本電信電話(株) 千葉支店総務部長
(株)NTT東日本ー千葉 総務部長
CSR推進室長

岩沢一也

私どもNTT千葉グループでは、平成18年4月に、社内に経営層からなる「CSR委員会」を設置するとともに、総務部内に「CSR推進室」を新設し、CSR推進に向けた体制整備を行いました。

また同年9月に、NTT千葉グループとしてのCSR基本方針を策定し、社員への周知を行いました。そのなかで、支店長／社長メッセージとして「CSRとは具体的に何をすれば良いのかを、社員一人ひとりが自ら考え、自ら実行していくことだと思います。」と、CSRが社員一人ひとりの思考と行動によって具現化されることをお伝えしました。

こうして、体制や方針が整えられた、NTT千葉グループにとって云わば「CSR元年」、ともいふべきこの一年間の私どものCSRへの取組みについて、ステークホルダーの皆様方にご理解いただくために、「NTT千葉グループCSR報告書2007」として取り纏めるに至りました。

紙面の都合で全ての取組みを掲載することはできませんでしたが、今後とも皆様からのご意見・ご要望に耳を傾けながら、より充実した報告書を作成し、引き続きCSR活動の推進・定着に努めて参ります。

平成19年7月

[CSR報告書に関するお問合せ先]

株式会社NTT東日本ー千葉

総務部CSR推進室

TEL(043)274-2786